



UNIVERSITY

CHUKYO

中京大学

校友会通信

2024 vol.42

「NEXT10 2033」を指針に、
時流に応じた改革に
挑みつづける。



学校法人梅村学園総長・理事長
中京大学長

梅村 清英

中京大学は本年、開学70周年を迎えました。学校法人梅村学園創立100周年(2023年)と併せて、昨年5月20日に日本ガイシホールで記念式典を開催し、校友の皆さまとともに晴れやかに祝うことができたのは、本当に嬉しい限りでありました。長きにわたって温かなご支援をいただいておりますことに、あらためて深く感謝を申し上げます。

さて新年度からは、70周年を次なるステップに向けた出発点と位置づけ、新たな長期計画「NEXT10 2033」が始動いたします。自ら課題を発見し、創造的な解決へと導ける人材の育成などを掲げた実践的なプランであり、学園の長期ビジョン「UMEMURA VISION 2033」の示す方向に沿いつつ、これまで以上に「挑戦する大学」としての姿勢を鮮明に打ち出したものです。

本格的な大学淘汰の時代の到来が指摘されておりますが、中京大学はこれからも「選ばれる大学」「誇るべき母校」として、確固たる歩みを進めてまいります。校訓「真剣味」、建学の精神「学術とスポーツの真剣味の殿堂たれ」を不変の理念として守りつつ、時代の変化に応じた改革にひるむことなく取り組んでまいります。

校友の皆さまには、今後とも引き続きご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

「真剣味」に還る場所、
すべての校友に
心地よい組織へ。



中京大学 校友会長

相羽 由光

世界中を混乱の渦に巻き込んだコロナ禍から一転、2023年度は新たな時代の幕開けと共に、各支部の校友会活動もスタートしました。リモートから対面へ、ようやく会長として校友の皆さまと直接お会いできる機会も増え、昨年は全国7支部を訪問しながら、皆さまの熱心な活動ぶりや母校への想いを肌で感じたところです。

人は自分にはないもの、自分は人にはないものを持っています。それだけに人との交流を通して、気づかされることは多いものです。校友会活動は同窓の懐かしさを楽しんでいただける場ですが、過去を振り返るだけでなく、今、自分自身の成長も照らし見ることのできる場として、ご利用いただけるのではないかと存じます。また校友や母校との接点を持つことで、「真剣味の精神」を再確認していただけることでしょう。

さて2024年度は、梅村学園創立100周年に続いて、大学開学70周年を迎えます。そうした歴史ある母校を誇らしく感じる一方、挑み続けなければここまで大きく変わる、発展できるのだと教えられたようにも思います。校友会も世代や学部垣根を越え、全国14万人、どの校友にとっても居心地のよい集まりや組織となれますよう、今後一層、盛り上げてまいりたいと存じます。

真剣味がつなぐ、
校友のためのコミュニケーション誌

校友会通信 2024 vol.42

CONTENTS

- 02 ご挨拶
- 03 中京大学開学70周年 記念企画
数字でたどる今昔 中京大学、70年の軌跡。
- 05 <特集1>校友会員の紹介
真剣味で次の一步を 時代を率いる、夢の先駆者たち
- 11 第24回 Home Coming Day
- 13 梅村学園創立100周年・中京大学開学70周年
記念イベント 名刺交歓会<第1回 大阪会場>
- 15 2023年度 第18回 新春賀詞交歓会 異業種交流
- 17 校友会員の営むお店紹介
- 20 各支部からのたより
- 26 ブロック別支部長会・支部校友会開催予定
- 27 「支部校友会」開催報告
- 36 校友会員の栄典・栄誉
- 37 課外活動奨励賞 表彰式
- 38 会計報告
LINE登録のお知らせ

※掲載内容につきましては、2024年1月現在の最新情報をもとに編集しています。



※名古屋キャンパス 5号館

卒業生・在学生・教職員で組織する「中京大学校友会」

母校愛でつながる、すべての校友のためのネットワークでありたい。

1958(昭和33)年、会員相互の親睦と校友組織の充実、母校の発展への寄与を目的に発足したのが、「中京大学校友会」です。当初、商学部第1回卒業生345人でスタートした組織も今では14万人を超え、すべての都道府県、さらには海外5支部を置く大きなコミュニティへと発展しています。

会員同士の親睦会をはじめ、ビジネス交流会や中京アスリートの応援、地域イベントの開催の他、在学生の卒業後の就職支援など、すべての校友会員にとって有意義なネットワークをめざして活動中です。

名古屋キャンパス 校友会・教育後援会事務センター

在学生は「校友会準会員」、卒業と同時に「校友会正会員」へ。

準会員	大学生、大学院生(会費納入期間)
正会員	大学、大学院卒業時(会費納入完了)
終身会員	すべての卒業生(会費不要)



※校友会活動への参加を希望される方は、校友会・教育後援会事務センターもしくは各支部(P19~26)へ直接、お問い合わせください。

- 1954 (昭和29)年 ■ 中京短期大学開学、商科を設置
- 1956 (昭和31)年 ■ 中京大学開学、商学部商学科を設置
- 1959 (昭和34)年 ■ 体育学部体育学科を設置
- 1962 (昭和37)年 ■ 商学部に経営学科、体育学部健康教育学科を増設
- 1966 (昭和41)年 ■ 文学部国文学科、英文学科、心理学科と法学部法律学科を設置
- 1967 (昭和42)年 ■ 体育学部に武道学科を増設
- 1971 (昭和46)年 ■ 豊田キャンパスが完成、体育学部が移転
- 1986 (昭和61)年 ■ 社会学部社会学科を設置
- 1987 (昭和62)年 ■ 経済学部経済学科を設置
- 1990 (平成2)年 ■ 情報科学部情報科学科、認知科学科を設置
- 1991 (平成3)年 ■ 経営学部経営学科を設置
- 2000 (平成12)年 ■ 心理学部心理学科を設置、情報科学部にメディア科学科を増設(体育学部体育学科、健康教育学科を体育科学科、健康科学科に改称)
- 2002 (平成14)年 ■ 国際英語学部国際英語学科、英米文化学科を設置
- 2003 (平成15)年 ■ 文学部に言語表現学科を増設(国文学科を日本文学科に改称)
- 2004 (平成16)年 ■ 生命システム工学部 身体システム工学科を設置
- 2005 (平成17)年 ■ 総合政策学部総合政策学科を設置
- 2006 (平成18)年 ■ 情報理工学部情報システム工学科、情報知能学科、情報メディア工学科を設置
- 2007 (平成19)年 ■ 現代社会学部現代社会学科を設置
- 2008 (平成20)年 ■ 国際教養学部国際教養学科を設置、情報理工学部機械情報工学科を増設
- 2011 (平成23)年 ■ スポーツ科学部スポーツ教育学科、競技スポーツ科学科、スポーツ健康科学科を設置
- 2013 (平成25)年 ■ 工学部機械システム工学科、電気電子工学科、情報工学科、メディア工学科を設置
- 2014 (平成26)年 ■ 文学部に歴史文化学科を増設、国際英語学科に国際英語キャリア専攻、英語圏文化専攻、国際学専攻を設置
- 2015 (平成27)年 ■ 現代社会学科に社会学専攻、コミュニティ学専攻、社会福祉学専攻、国際文化専攻を設置
- 2020 (令和2)年 ■ 国際学部国際学科、言語文化学科を設置
- 2021 (令和3)年 ■ スポーツ科学部にスポーツマネジメント学科、トレーナー学科を増設

「何事においても真剣に」を胸に刻み、文武両道を楽しんだ学生時代。

中学、高校、大学と梅村学園にお世話になって67年。1960年代の中京大学はまだ木造の校舎で、夏は暑く、冬はすきま風に凍え、用務員さんの火鉢で暖を取らせてもらったことを憶えています。いちばんの思い出は部長を務めた珠算部。大学祭では珠算競技大会を主催、展示に神輿パレード、すべての企画に参加し、マラソン大会では優勝もしました。高度経済成長期のど真ん中。中京大学も4学部体制となり、学生数も倍増するなど活気溢れるキャンパスで、真剣味の精神を胸に刻んだ学生時代でした。



中京大学珠算部10代部長



部員たちでつくった神輿の前で。語りきれないほど素晴らしい思い出と共に、今も珠算部の仲間との交流が続いています。

渡邊 勇さん 1966年度 商学部卒

1960年代

異なった2つの時代、2人の卒業生が語るあの頃、あのキャンパスで

2000年代



2000年ごろのガレリアは交流拠点。資格や就活のことなど情報交換しながら、「他学部の人ともすぐに仲間になれた」とか。

松村 亜矢子さん 2003年度 経営学部卒

北京五輪アーティスティックスイミング日本代表 校友会副会長



アーティスティックスイミング(以下、AS)※は泳力、筋力、バレエのような柔軟性も必要です。他の競技者からは「ASじゃなくてよかった」と言われるほどトレーニングも過酷でしたので、私にとって名古屋キャンパスはやすらぎの場でした。特に当時、ガレリアには学生が集まり、学部や学年に関係なくコミュニケーションをとった時代。アスリートとして苦しかった時期も、たわいもない会話に救われましたし、学生らしく過ごせたことで広い視野を持てたと思います。学生時代のつながりは得難いもの。在学生の皆さんも多くの人とふれあい、世界を広げて欲しいですね。

※旧シンクロナイズドスイミング

学生らしく過ごせた環境があったからこそ、アスリートとして世界の頂点に挑めた。

数字でたどる今昔 中京大学、70年の軌跡。

1954年、商科単独の中京短期大学として開学し、今年で70周年を迎えた中京大学。全国有数の総合大学となった「今」と「昔」、その発展ぶりを数字でたどります。

学部数



学生数



海外留学・研修派遣総数



公務員合格者数



校友会支部数



1958年、商学部第1回生によって設立された校友会(旧同窓会)。学校部会や警察部会、海外支部も誕生するなど、大きな組織に発展しました。



2008年には創立50周年記念祝賀会を開催。全国各地から1,100名の校友が集いました。

真剣味で次の一步を 時代を率いる、夢の先駆者たち



ラグビーレフリー 桑井亜乃さん

2011年度 体育学部卒

北海道出身。高校までアイスホッケーと陸上競技に打ち込み、円盤投げでは全国5位に。大学2年の選択授業でラグビーと出会い、2012年からプレーヤーとして本格的にトレーニングを開始した。そのわずか1年後、7人制ラグビー女子日本代表に選出。2016年、リオデジャネイロ五輪への出場を果たした。2021年の現役引退後、世界での経験を強みにレフリーとして五輪出場を目指す。
*パリ五輪のレフリー選出は2024年6月の予定。

中京大学では陸上競技部に所属し、室伏重信コーチ(中京大学名誉教授)に師事。円盤投げをご指導いただきながら、親代わりのように面倒を見ていただきました。オリンピックを常に身近に感じさせてくださった室伏広治さん(2007年度体育学学術研究科卒、現・スポーツ庁長官)の存在も大きく、アスリートとして恵まれた大学時代を過ごすことができました。

卒業後は地元にもどって体育教師になる道もありましたが、ちょうどラグビーがオリンピック種目に決まったころのこと。チーム強化のため、他競技から選手を集める動きもあって、ラグビーに転向して四年後のリオ大会にチャレンジするか?二つに分かれた道を前に、最終的に今しかできない道を選びました。

子どものころ、「どうしたらオリンピック選手になれるの?」と親に尋ねたことがあります。その時、「今やっているスポーツを頑張ったならなるよ」と言われましたが、陸上やアイスホッケーの動きがラグビーにつながることも多く、それまでやってきたスポーツのおかげで今の自分があると

思っています。ただしこれまでやってきたどのスポーツよりも練習はハードでしたが(笑)、でも楽しかった。二〇二一年八月に引退後、今度はレフリーとして再びオリンピックを「目指そうと思ったのも、ラグビーが好きでグラウンドを離れがたい気持ちがあったから。現役時代は一つクリアすると、すぐにまた次の課題が見えてくるような毎日が面白く、何かしら大きな目標を掲げて追いかけたかったのかもしれません。

実は選手とレフリー、その両方でオリンピックに行った人は一人

もなく、実現すれば世界初。私にレフリーになる提案をしてくださった日本ラグビーフットボール協会の方に、三年後のパリ五輪に行ける可能性をうかがうと「ゼロではない」との回答でしたので、やらない後悔をするよりは、世界初のことに挑戦してみようと覚悟を決めました。

あまり知られていないと思いますが、実はレフリーも立派なアスリート。一試合で六〜七kmは走りますので、毎日のトレーニングは欠かせません。また瞬時に判断し、毅然とした態度でジャッジするには、経験を積むことや語学も含め

勉強が大切です。やるべきことが多すぎて、一体どこから手をつけたらいいのか。時には道を切り拓いていくしんどさやプレッシャーも感じながら走り続けてきましたが、昨年十五人制では「WXV・七人制では「HSBC SEVENS」といわれる世界最高峰の大会でレフリーに選出され、世界にアピールする機会も増えてきました。

目指すオリンピックのレフリーは十名程度。その枠をラグビーの強豪国で笛を吹く世界中のレフリーと競わねばなりません。夢を実現できるようなベストを尽くしたいと思っています。

レフリーもアスリート、だからこそ「強く、美しく」。選手と同じように鍛え、信念をもって世界の大舞台へ。



現役時代に世界を経験していることが自身の強み。「ラグビー大國からすればアジアの地位はかなり低いからこそ、なんとか食らいついて結果を残したい」と桑井さん。

学生広報スタッフ

樋口 生海さん
経営学部 3年生



長野県長野市出身。高校在学中の2019年、台風による豪雨災害に遭ったことをきっかけに、報道の仕事に興味を持つ。「伝える」経験を積みたい、と広報スタッフの活動に参加。趣味は野球観戦(中日ドラゴンズ)、旅行、カメラ、靴磨き。

学生広報スタッフとは?

広報課所属の学生団体で、学生ならではの視点で、情報発信や、イベントの企画運営などを行い、中京大学の知名度を向上させる活動を行っています。

取材後の感想

世界を舞台にして挑戦を続ける桑井さん。まさにラグビー界の旗振り役!

失敗を恐れずにやりたいことを追求し、道なき道を切り拓く桑井さんの姿に、尊敬の念を覚えるとともに、挑戦することへの勇気をいただきました。オリンピックやW杯の舞台で笛を吹かれるのを楽しみに待っています!

卒業生 × 在学生 気になること、先輩に聞いてみた

Q 陸上とラグビーの2つの競技を経験されて感じる、チームスポーツの魅力を教えてください。

1人じゃないから、いろいろなことが分散されることですね。練習の厳しさや試合中の緊張感、勝った時の喜びも、その場で一緒に戦いながら感じたことすべてを共有できるのは、チームスポーツの魅力だと思います。

Q レフリーとして選手とコミュニケーションをとる時、気をつけていることはありますか?

レフリー側が決してヒートアップしないことですね。現役時代の経験から、選手の気持ちも理解できるため、選手に詰め寄られても感情を出さず、言い返したりしないよう、実は我慢しています(笑)。

卒業生 × 在学生

気になること、先輩に聞いてみた

Q 皇宮護衛官は警察組織の中でも特殊な立ち位置だと思いますが、働かれてからギャップを感じることはありましたか。

通常の警察官のように、捜査など行わないことを知った上で拝命しましたので、大きなミスマッチは感じませんでした。ですが、自然に囲まれた皇居内では、都心でありながらタヌキやハクビシンを見かけることが多く驚きました(笑)。

Q 皇宮護衛官は女性の採用割合が全国トップクラスということですが、女性ならではの活躍の場などはあるのでしょうか。

基本的に、性別によって業務面で差がつくことはありません。ただ女性の皇族方の護衛では、女性しか入れない場所についていくこともありますし、一般の方の手荷物確認といった場面においても、女性の力が必要になると感じています。

取材後の感想

皇室守護という崇高な使命にも押し負けないような、プロフェッショナルリズムを見せつけられたような気がします。

「家族にも仕事の詳細を伝えることができないことがある」。一見、制限が多く大変そうに思える職業ですが、インタビュー中の大内さんの眼差しからは、この仕事への誇りと情熱が感じられました。

1つのことに真剣に打ち込んだ学生時代が、一歩ずつ前に進む力を与えてくれた

学生時代のいちばんの思い出は、資格試験の勉強に打ち込んだことでしょうか。就職氷河期の真ただ中、何かしら資格を持つていないと就職できない。そんな危機感を抱く学生は多く、大学も資格対策講座に力を入れ始めたころでした。

公安職(警察官や消防官など、国の治安や人々の安心安全を守る公務員)を目指していた私も、採用試験の勉強につながれば、と行政書士や宅建の資格にチャレンジ。グループをつくり、一人でも赤点を出すと全員がペナルティを受けるようなルールを決めて、互いに迷惑をかけまいと猛勉強しました。そんな挑戦を通して自信も与えてもらいましたし、切磋琢磨でき

る仲間にも恵まれたおかげで、ご縁をいただけたのが皇室守護を専門とする警察組織、皇宮警察本部です。

「ご存じの方は少ないと思いますが、天皇皇后両陛下をはじめ皇室の方々の護衛、皇居や御所、御用邸など国の皇室用財産を警備することが皇宮警察本部の主な役目です。そして、勤務する職員は「警察官」でなく「皇宮護衛官」。私も皇宮警察学校で学んだのち、坂下護衛署(皇居)や京都護衛署(京都御所)などに配属され、門での警備に従事しました。

「どんな状況でも、常に全方位に全神経を注ぐこと」とは警察学校で教えられたことですが、門を訪れる方は陛下のお客様かもしれません。安全確保のため

に柔剣道や逮捕術などを学ぶ一方、一般の方々も含め、どの方にも失礼がないよう、和歌や茶華道といった情操教育を通して、作法やきちんとした言葉づかいも身につけています。

また側衛官として女性皇族の護衛に就いた経験もあります。やはり皇宮護衛官ならではの特別な任務、重責を担う緊張感とともに、皇室の方のそばにいてことでお役に立っている実感もあり、改めて身の引き締まる思いでした。

皇宮護衛官の場合、定期的に人事異動が行われますが、三年前には警務課へ異動し、皇宮護衛官の採用担当者となりました。デスクワークは初めてのことで、自分には向いていないかも？

と正直、戸惑った時期もありました。ですが、それまでさまざまな勤務地や部署で、それぞれ違った仕事の面白さと出会い、この仕事に就いて良かったと思えることがたくさんありました。知らない世界に触れることで得られるものがどれほど大きい。仕事の流れを掴み、少し狭まっていた視野も広がりました。

中京大学には、国家公務員を目指す方も多いと思いますが、その中で「皇宮護衛官」という仕事があることをまずは知っていただきたいですね。また学生時代に真剣に取り組んだことが、いろいろな場面で道を拓く力になります。今しかできないことに全力で打ち込んでください。



皇宮護衛官
(皇宮警部・皇宮警察本部 警務課課長補佐)

大内 麻実 さん

2004年度 法学部卒

警笛をつなぐ紐の色は、「赤心(偽りのない心)」を象徴するワインレッド。袖章は警部の階級を示す。「学生時代の勉強法が昇任試験に役立っています」とキャリアアップにも余念がない。



栃木県出身。制服姿に憧れて警察官を志望。公務員試験など、資格対策講座も充実する中京大学へ進学した。警視庁や都道府県警を目指す中、「採用試験は順風満帆とはいかず」背水の陣で臨んだ皇宮護衛官に合格。念願の制服に初めて袖を通した時、「カッコいい」の言葉が口をついて出た。仕事に慣れたタイミングで、勤務地や部署の異動も多いが、「その場所でもしか学べないことがあるから」と、どこまでも前向きだ。

真剣味で次の一步を
時代を率いる、夢の先駆者たち

人生はたった一度きり。
ビッグデータで不動産業界の
課題を解決しながら
国民の利益を追求したい。

高校生まではバスケットボールに夢中でしたが、大学入学後、先輩に誘われるまま宅建講座を受講。朝から晩まで机にかじりつく毎日でした。不動産という、実生活に直結した学びに面白さを感じたころもあつたと思います。

宅建合格後も簿記やFP^{※1}、CFP[®]^{※2}資格を取得し、その延長線上にあった金融業界へ就職。三菱UFJ信託銀行では、個人・法人営業を通して不動産売買に関わってきました。やがて行員という立場で見えてきたのが、情報収集の非効率さをはじめとする不動産業界の課題でした。

たとえば詳細な企業情報も、今や膨大なデータから瞬時に検索できる時代ですが、不動産売買に伴う物件調査に限って言えば、いまだ現地や役所を訪ねて情報収集するアナログな世界。そこに着目

し、不動産に関するあらゆる情報をデータベース化、法人向けに提供するTRUSTARTを起業したのが二〇二〇年のことです。

ちょうど経産省が「出向起業補助金」という制度を始めたころで、大企業に籍を置いたまま、自ら起業した会社に出向できるこのプログラムに三菱UFJ信託銀行が名乗りをあげました。私自身、同じような仕組みを考えて提案しようとしていた矢先のこと。社内公募の第一号となり、銀行からサラリーをもらって最低限のリスクヘッジをしたことで、安心してチャレンジできたと思います。

それから二年。出向元のネットワークのおかげで得意先も増え、手応えを感じるようになって自立をさせてもらいました。従業員の人生を背負う責任は大きいですが、どんどん自分で決め、ス

ピード感をもってアクセルを踏んでいけることを楽しんでいきます。また日本では、優秀な学生の多くが大企業への就職を目指しますが、アメリカでは優秀な人ほど、まずは起業するのが一般的です。もちろん無謀とチャレンジは違うものですし、起業家として向き、不向きもあるでしょうが、思いが強ければ、必ず応援してくれる人が現れるものです。

不動産業界の課題をビッグデータで解決することが当社の命題ですが、これまでお客様が1か月2か月と費やしてきた情報収集にかかる時間を数分に短縮できれば、働き方も変わるし、コストも減らせます。つまりその分、不動産価格を下げることができるようになります。そうなればこれまでやってきたことが、国民全体にインパクトを与えられる大きな仕事になっていく。

事業を通して、どこまで社会にいい影響を与えられるか。数か月前、外部から資金調達したところですが、そういうスタンスに共感し、いくつかの企業が集まって応援してくれました。

人生は一度きり。道を決めたら、あとは成功するまでやるだけです。

※1 ファイナンシャルプランナー ※2 世界的に認められたFP資格の最上位資格。

卒業生 × 在学生 気になること、先輩に聞いてみた

Q 就職活動中、気をつけてやっていたことなどがあれば教えてください。

心理学の本を多く読み、どう話せば好印象を与えられるか？高評価を得られるか？ということを考えながら勉強しました。面接を攻略していくイメージで取り組んだことで、面接まで進んだ企業の選考に落ちることはありませんでした。

Q 現在、もしくは将来、起業したいと思っている学生は多いと思います。そんな学生にアドバイスをお願いします。

考えるのはやめて、起業してみるといいと思います。ビジネススクールで学ぶようなことも、結局は机上の話であり、実際にやってみることのギャップはかなり大きいものがあります。まずやってみることが大切であり、やりきった人が成功すると思っています。

取材後の感想

東京で奮闘される姿は、学生誰もが憧れてしまうようなビジネスマン。

ロジカルにユーモアも交えてお話しされる様子はとてもスマートで、とにかくカッコイイ！という印象でした。学生時代に、宅建やFP、簿記など多くの資格勉強をされてきた“過去”と“今”を知り、学ぶことへの活力が湧いてきました。



TRUSTART株式会社(代表取締役社長 CEO)
大江 洋治郎 さん
2009年度 経済学部卒



鹿児島県出身。父親の転勤に伴い三重高等学校へ。2010年、三菱UFJ信託銀行に入行。個人、法人営業を務めたのち、新規事業開発部署へ異動。起業家としてのノウハウを早稲田大学のビジネススクールでも学んだ。2020年に起業した「TRUSTART株式会社」は2023年、新たに7社から4.5億円の資金を調達。資本金(資本準備金含む)は累計6億円に。チャレンジ精神を築ききっかけとなった母校への恩返しもあり、2023年度より中京大学校友会東京都支部の事務局長を務める。

Home Coming Day

2023.11.4

豊田キャンパス



アイスアリーナには開場を待つ長い列が。スポーツミュージアムなども大盛況。

第三十回を迎えた中京大学とよた祭は、「鳳(おとり)」をテーマに二日間に行われ、名古屋キャンパスと同じく「校友生シヨップ」が登場し、栃木県下野市で農業を営む川井保明さんが出店。多くの来場者が自慢のお米を競うように買い求めていました。子ども向けの企画も数多く行われ、お子さんを連れたい校友が家族で盛り上がる光景があちこちで見られました。

アイスアリーナ見学や学内施設キャンパスツアーにも多くのご参加をいただき、大盛況で幕を閉じた今回のホームカミングデー。皆さまの次回のご参加をお待ちしております。



両キャンパス開催!

新企画

スタンプラリー

カプセルトイに挑戦できるスタンプラリーを実施。景品のチューグル(中京大学マスコット)グッズに子どもたちも大喜びでした。

懐かしくて新しい。母校のキャンパスを訪ね、思い出をたどって過ごす1日。

大学祭の開催に合わせ、卒業生(校友会員)を母校へお招きする「ホームカミングデー」。今年度の参加者数は名古屋・豊田キャンパスを合わせて2671名と、構内は旧友やご家族と連れ立って歩く卒業生で大賑わいでした。

第七十回を迎えた中京大学祭は「楓(かえで)」をテーマに、三日間にわたり開催。ライブパフォーマンスや模擬店、縁日企画と、あちこちで人だかりができる中、参加者の注目を集めたのがキャンパスツアー。図書館や清明ホール、アネックス棟など、立派な施設の数々に感嘆の連続でした。また今年度は、両キャンパスともに校友の出張販売「校友生シヨップ」やスタンプラリーもあって、思い出にお楽しみいただけたようです。



両キャンパス開催!

新企画

校友生シヨップ

喫茶店の本格コーヒーに焼きたてパン、信州りんごの直売と、校友のお店が初登場。瞬時に品切れになる盛況ぶりでした。

▶ご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。
市野 将行さん(2000年度卒「喫茶モーニング」)
有澤 智恭仁さん(2007年度卒「BAKERYつむじ風」)
林 芳樹さん(1999年度卒「マイパール長野」)

参加した卒業生の声



写真右
山崎 貴彦さん
(1975年度 商学部商学科卒)

過去にも名古屋で1回、豊田で2回参加するなど、毎回楽しみにしています。四季折々の自然と建物が見事に調和した豊田キャンパスは、絶好の撮影スポット。写真が趣味の妻と一緒にのんびり散策を楽しんでいます。



写真下段右から
八木(旧姓佐野) 倫子さん
(1996年度 情報学部認知科学科卒)
加藤(旧姓小村) 静枝さん
浜田(旧姓増田) 美鈴さん
(1996年度 情報学部情報科学科卒)

写真上段右から
八木 貴司さん
(1996年度 社会学部社会学科卒)
藤原 和古さん
浜田 守さん
(1996年度 情報学部情報科学科卒)

今回は同じ学年の仲間たちと再会。全員が集まるのは実に15年ぶりです。久々だとは思えないほどすぐに打ち解け、思い出話が止まりませんでした。大切な友人と出会えた母校への感謝の気持ちを改めて感じています。



写真右から2人目
高村(旧姓秋元) 美咲さん
(2013年度 情報理工学部情報メディア工学科卒)

参加するのは今年で4回目。スケートが大好きな母を誘い、アイスアリーナの見学を目的に参加しました。リンクで選手たちが練習する風景を見られて母は大喜び。卒業後にできたスポーツミュージアムも面白かったです。

参加した卒業生の声



写真右
三矢 綾太さん
(2015年度 経営学部経営学科卒)
写真左
三矢(旧姓仙波) 美幸さん
(2015年度 総合政策学部総合政策学科卒)

わが家では子どもたちも楽しみな恒例行事になっています。今回、息子と娘はチューグルのグッズを獲得して大喜び。そんな子どもの成長を感じつつ、夫婦ふたり、楽しかった学生時代をもう1度、過ごしてみたくくなりました。



写真右
荒井 裕三さん
(1969年度 文学部心理学科卒)
写真左
後藤 二郎さん
(1969年度 文学部心理学科卒)

二人とも心理学第1期生。今日は心理学部校友会も開催されるため、広島から駆けつけました。同期生とは卒業後も毎年、旅をしながら絆を深めてきましたが、すでに半世紀以上。生涯の友を得られた母校に感謝しています。



写真右
本多(旧姓堀) 月美さん
(2006年度 経済学部経済学科卒)

学園祭のテーマが昨年は「樹」、今年は「楓」と、双子の子どもたちの名前と同じで、母校とのご縁を感じています。また学生時代は梅村清英学長のゼミに所属し、お世話になりました。有意義な時間を有難うございました。

名刺交歓会

第1回
大阪会場



名刺交歓会とは

校友会主催のイベントのひとつが、本学を卒業したビジネスパーソンのための異業種交流会「名刺交歓会」です。仕事を通じて校友同士がつながるきっかけになれば、と一〇一七年、まずは東京会場でスタート。その後、第二回、第三回と東京で行われ、二〇二〇年には会場を大阪へ移して開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響で延期。それから三年、ようやく開催の運びとなりました。

記念講演

講師：西野 亮廣 あきひろさん

演題：気になるビジネス&コミュニティの作り方

人とのつながりが ビジネスの新たな打ち手に。

二〇二三年九月二十三日(土)、ヒルトン大阪(大阪市)を会場に「第一回中京大学名刺交歓会大阪会場」が行われまし



た。初の近畿ブロックでの開催にふさわしく、第一部は芸人・童話作

家として大成功を収められた西野亮廣さんが登場。ビジネス書はベストセラー、オンラインサロンで会員数は国内最大と、多方面で才覚を発揮される西野さんに、これからのビジネス戦略についてご講演いただきました。「人を楽しませること、大好きなエンターテインメントの世界で自由

なものづくりができるよう」活動を支えるファイナンス(資金調達)についても研究を重ねられた西野さん。昨今、エンタメの世界をはじめ、自治体も行事の際、VIP席を設けて物議を醸しましたが、「富裕層向けに”高く売る”戦略を批判する日本人は多いが、その分、安価な席も用意でき、より多くの人が参加しやすくなるメリットも」と持論を展開。



手となっていく」と七〇分間ノンストップの熱弁に、皆さん前のめりになって耳を傾けておられました。

名刺交歓会



相羽 由光 校友会長



梅村 清英 総長・理事長、中京大学長



中岡 英彦 大阪府支部長

世代や学部を越えたコミュニケーションで人脈づくり。

社会で活躍する校友を卒業後もずっと応援。

西野さんの講演に触発された校友も多かったのか、いち早く名刺を交わす姿があちこちで見られる中、第二部の名刺交歓会は始まりました。

まずは会の冒頭、相羽由光校友会長が「ようやく大阪会場で名刺交歓会を開催できました。校友の皆さまがより一層、社会で活躍される、その一助となりますことを願っています」と開会を宣言。

理事、中京大学長は、創立二〇〇周年記念事業への支援に感謝の気持ち述べられ、「これからも挑戦する大学として歩んでいく母校に誇りを持って欲しい」と挨拶されました。そして中岡英彦大阪府支部長から、「校友のつながりを大切にして、ご自

身の発展のために活かしてください」との言葉と共に、「乾杯!」のご発声をいただきました。

母校の温もりに包まれて、初参加の緊張感も何のその。

乾杯のグラスを空にするより早く、アグレッシブな動きを見せたのが、六月にコンサルティング会社を起業したという片岡義仁さん(二〇一九年度現代社会学部卒)。「経営者として手応えも感じられるようになった今、こういう場で人脈を築きたい」と初参加。「校友同士、共通項も多くて話しやすい」と終始リラックスした表情。これを機に、支部会活動にも積極的に参加したいとのことでした。

小原淳子さん(一九九四年度社会学部卒)は、子育て支援のNPOを運営。「自分たちの活動を多くの方に知っていただくつもりで参加。母校の懐かしさ、温かい空気を感じつつ、ここから積極的にいきたいと思えます」とエンジンがかかった様子です。愛知県から参加されたのは、柘本

敏寛さん(二〇一一年度経営学部卒)美奈さん(二〇一一年度経営学部卒)ご夫妻。インテリアコーディネーターの奥さまは、これまで新春賀詞交歓会に何度か参加され、「実は新春賀詞交歓会でいただいたご縁がもとで主人と結ばれました」とこり。一方、製菓会社に勤務するご主人は、学生の声を商品開発に取り入れるなど、母校のゼミ活動をサポート。「こうしたつながりを大事にしたいだけける母校に感謝しています」とうれしい言葉をいただきました。

校友の絆を自分自身、そして母校のさらなる発展に。

「名刺交歓会を近畿ブロックでも、と願っていました。ようやく実現しました」と喜んでおられたのはト部正幸さん(一九六八年商学部卒)。「母校の雰囲気を感じて伝えられる機会を各地でもっと増やすことが、校友の絆はもちろん、世界にその名をとどろかすような中京大学のさらなる発展につながるはず」と目を輝



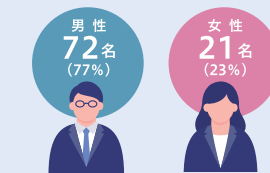
かせていらっしゃいました。開始から約二時間。学歌斉唱後、登壇したのは松村亜矢子副会長です。「各世代とのつながりを構築できる、このコミュニティをぜひ大切にしたい」と述べると、場内は割れんばかりの拍手に包まれ閉会。今後は東京、大阪以外の地域においても開催を検討していきたいと考えています。

2023年度

大阪名刺交歓会 参加者プロフィール

第1回となった大阪会場には、地元の大阪や兵庫、京都、奈良、和歌山など、近畿ブロックを中心に93名の校友が参加。中には群馬や東京、徳島と遠方から駆けつけた校友もいらっしゃいました。

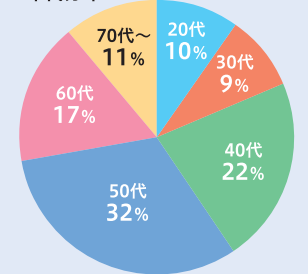
男女比



女性の割合が23%と、4分の1近くを占めました。日本の女性開業者の割合(24.5%)とほぼ一致しています。

*「2022年度日本政策金融公庫新規開業実態調査」参照

年代分布



ボリュームゾーンは50代・40代。20~30代(19%)より60代以上(28%)が多く、若い世代の参加が期待されます。

業界分布

A	食品・飲食・衣料・総合店舗・専門店等	8%
B	自動車・電力・燃料・部品・機器・資材・物流・運輸等	12%
C	建設・住宅・不動産・公共工事・ビル・設備等	12%
D	金融等	4%
E	医療・医薬・福祉・衛生・理美容・健康等	9%
F	旅行・宿・レジャー・美術・スポーツ等	3%
G	マスコミ・芸能・芸術・印刷・広告・デザイン等	3%
H	情報・通信・IT・システム・コンピュータ等	1%
I	総合商社・コンサルタント・専門職・派遣業等	9%
J	教育・公共・公務員・各種連盟等	17%
K	その他	23%

その他の業界では、行政書士や結婚相談所、市議会議員、ピアノ調律師など幅広い分野からご参加いただきました。

2023年度 第18回 新春賀詞交歓会

異業種交流

新春賀詞交歓会とは

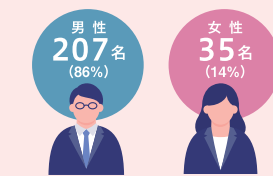
校友会が卒業生に呼びかけ、ビジネスの人脈づくりや異業種交流を目的に始まったのが「新春賀詞交歓会」です。初開催は2004年。それから回を重ねるごとに参加者も増え、やがて年初を飾る行事として定着してきました。母校のつながりを軸に、業界もキャリアも、世代も違う方々と気兼ねなく交流できる。そんな貴重な機会をビジネスや日常生活にお役立てください。



2023年度 新春賀詞交歓会 参加者プロフィール

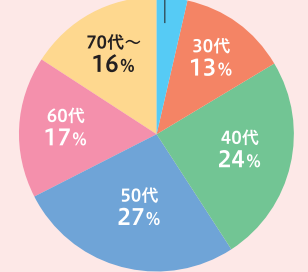
コロナ禍もあって、4年ぶりとなった新春賀詞交歓会。例年の1月下旬から松の内での開催となりましたが、242名が参加。愛知を中心に岐阜や三重、静岡からも多くの校友会員の皆さまにお集まりいただきました。

男女比



女性の割合は全体の14%。少しずつ増加傾向にはあるものの、大阪会場と比べると、参加者を増やしたいところでは。

年代分布



多いのは50代、40代、60代(17%)の順で、30代(13%)は70代以上(16%)より低い数字となっています。

業界分布

A	食品・飲食・衣料・総合店舗・専門店等	6%
B	自動車・電力・燃料・部品・機器・資材・物流・運輸等	13%
C	建設・住宅・不動産・公共工事・ビル・設備等	13%
D	金融等	6%
E	医療・医薬・福祉・衛生・理美容・健康等	6%
F	旅行・宿・レジャー・美術・スポーツ等	2%
G	マスコミ・芸能・芸術・印刷・広告・デザイン等	6%
H	情報・通信・IT・システム・コンピュータ等	3%
I	総合商社・コンサルティング・専門職・派遣業等	8%
J	教育・公共・公務員・各種連盟等	24%
K	その他	13%

ものづくりの中部圏だけあって、メーカーにお勤めの方もたくさん参加されました。



「ていきたい」と述べられました。また今年度は鏡開きも企画。「ヨイシヨ、ヨイシヨ、ヨイシヨ」と福を招くかけ声が響き渡り、会場が新春のすがすがしい空気に包まれます。乾杯の音頭に立った松村亜矢子副会長より、「今年はパリ五輪の開催年。日本代表を目指す後輩への応援をお願いします」とのご挨拶を皮切りに名刺交歓会が始まりました。

第一部・新春賀詞交歓会は、一月一日、能登半島地震で被害に遭われた方々への黙とうから始まりまして、

再会と、新たな出会いをビジネスや心のエンジンに。

主催者挨拶に立った相羽由光校友会長は、冒頭、哀悼の意を述べ、「改めてこの日を迎えられましたことを皆さまに感謝します。本日は真剣味の精神を胸に刻み、母校のつながりを仕事や人生にお役立てくださ

あらゆる世代や職業、立場を越えた交流の輪が幾重にも。

「ビジネスの人脈を広げるため」と初参加されたのは、不動産関連会社にお勤めの宗平壮一郎さん(二〇一七年度スポーツ科学部卒)。思いがけず恩師との再会もあり、「学生時代、まずやってみろ、と先生によくいわれたことを思い出しました」と仕事への気合いも入った様子。馬場朝美さん(二〇〇五年度体育学部卒)はパーソナルトレーナーとして三年前に独立。「中京大学という共通項があって話しやすい。コロナ禍では難しかった“つながり”を収穫したい」と意欲的です。豊田キャンパスの第一期生という人生の大先輩、「社会勉強になれば」と参加した社会人一年生、そしてプロのレーシングライダーまで、世代も職業もさまざまに、熱い交流の輪が広がった有意義な会となりました。

新春賀詞交歓会に参加して



株式会社snow drop
代表取締役
(着物レンタル・リメイク等)
三ツ矢 春輝さん
2010年度
経済学部
経済学科卒

着物の魅力を伝えたくて参加しました。大学時代の学びが今、仕事に役立っている実感もあり、これを機に、母校に恩返ししていきたい気持ちも強まりました。



日進市立
日進東中学校 教頭
荒川ひとみさん
1997年度
体育学部
武道学科卒

いつも講演会を楽しみに、第1回目から参加しています。名刺交歓会では業界ごとにテーブルが分かれ、最新の動向や情報を入手しやすいのも助かっています。



トークショー

将棋棋士：杉本昌隆 八段
女流棋士：室田伊緒 女流二段

才能がしなやかに伸びていく環境を与えること。

二〇二四年一月六日(土)、中京大学校友会主催「新春賀詞交歓会」が名古屋観光ホテルで行われました。第一部・トークショーのゲストは、将棋界より杉本昌隆八段と室田伊緒女流二段のお二人。昨年、八大タイトル完全制覇という偉業を成し遂げた藤井聡太八冠の師匠と姉弟子、揃っての登場とあって参加者の期待はひとしお。盛大な拍手からトークショーは幕を開けました。まずは二〇二四年、一〇〇周年を迎える将棋界の行方について。八つのタイトル防衛戦とトーナメント戦、年明けから対局スケジュールがびっしりの藤井八冠。その王座を虎視眈々と狙う若い棋士たちとの激しい攻防も予想され、ファンならずとも将棋界から目が離せないようです。また「ひらめき、先を読む感性は天賦のもの。そこに手を加えるわけにはいかないと、かつて藤井八冠を弟子にすることを思い悩んだエピソードも披露。師匠として、Z世代といわれる弟子たちが自分で考え、将来、プロの立場で自分の意見をきちんと伝えられる、そんな環境づくりに力を注がれてきたことが強く感じられるお話となりました。時折、室田女流二段が解説を交え、将棋研究会や戦法、AIについて、熱く語る師匠をサポート。最後はプレゼント抽選会で盛り上げていただきました。

「い」とご挨拶。続いて梅村清英総長・理事長、学長は「二〇二四年度は大学開学七十周年を迎えます。人間では古希にあたる節目の年に、母校をより誇らしく感じていただけるよう改革を続け

「自分のお店を紹介したい」
「校友会員の店を知っている」という方は
是非こちらまでご連絡を▶▶

中京大学校友会事務センター
メールアドレス
koyu@ml.chukyo-u.ac.jp

または
ご登録フォームより
直接入力



原点は母校、成功のキーワードは“真剣味”

校友会員の営むお店紹介

ふるさとの味として愛され続けて100年。
職人の手仕事を生かし、新たな味づくりにも挑戦。

学生時代は硬式野球部の主将、卒業後も3年間コーチを勤めさせていただきました。チームでいちばん大事にしていた四大綱は、社会人になった今も大切にしています。松尾醸造場の創業は昭和元(1926)年。麴の香りが際立つ味噌や南九州独特の甘口の醤油、それらを使った加工品を製造販売しています。2023年度の大学祭では「校友生ショップ」として出店させていただきましたが、多くの方にお声がけいただき、改めて母校のネットワークの大きさを感じたところです。創業時からの丁寧な職人の手仕事を守りながら、新しいことにも挑戦し続けたいと思っています。



地元・串間の人々に愛されてきた松尾醸造場。2026年には創業100周年を迎える老舗です。



伝統の製法で仕込む麦みそは、九州南部独特の甘口タイプ。フリーズドライの味噌汁も自慢の逸品。



宮崎県 串間市
株式会社 松尾醸造場
松尾 優作さん 2018年度 スポーツ科学部スポーツ教育学科卒

info 【TEL】0987-72-1658
【営業時間】8:00~19:00
【定休日】第一土曜日、日曜日 公式オンラインショップ有
【所在地】宮崎県串間市大字西方3130-2
【アクセス】日向北方駅 徒歩約10分
MATSUO_JOZOJYO

選んで、食べて楽しい、ルール無用の50種類！
くつろぎの空間でサンドイッチの魅力を発信。

百貨店で働きたい一心で商学部へ。4年間の学びを通して、自分の商売哲学の礎を築くことができました。卒業後は念願の百貨店に勤務しましたが、好きなものを何でも挟めるサンドイッチこそ、理想の商材であるとい念発起。30歳で鞍馬サンドに店長として転職、32歳の時に営業権を取得しました。鞍馬サンドは和食材を含め、老若男女問わず喜ばれるもの、選ぶ楽しさまで味わえるサンドイッチ専門店。店の美観や接客サービスにもこだわりながら、100年続けられるよう「真剣味」を胸に、次世代へバトンをつないでいきたいと思っています。



サンドイッチでは難しい“長い食材”も挟めると、ドッグサンド専門店「高虎DOG」も15年前に開業。



好きなサンドイッチに選べるドリンク、サラダ、スープ、ポテトをセットした満足セット(サンドイッチの税込価格+税込880円)



三重県 鈴鹿市
鞍馬サンド
オーナー 鈴村 光司さん 1993年度 商学部商学科卒

info 【TEL】059-380-0313
【営業時間】9:00~17:00 【定休日】なし(元日を除く)
【所在地】三重県鈴鹿市野村町110-4
【アクセス】白子駅 徒歩約30分



愛知県 蟹江町
低温調理専門店 muku
オーナー 伊藤 憲さん 2006年度 体育学部体育科学科卒

info 【TEL】080-7324-8379
【営業時間】18:00~1:00
【定休日】木曜日
【所在地】愛知県海部郡蟹江町城4丁目203
【アクセス】近鉄蟹江駅 徒歩約4分

※SNSのショート動画『バク転大工社長』もどうぞご覧ください。

再生された古民家キッチンで、
低温調理による素材の無垢な持ち味を楽しむ。

大学時代は器械体操に熱中しましたが、卒業後は子どもの頃に夢みた大工の道へ。無垢や漆喰、自然素材にこだわりながら、お客さまと一緒に家づくりをする中で、空き家だった長屋を事務所や飲食店などにリフォーム。そんな時、優秀な料理人と出会い、「低温調理×古民家再生」をコンセプトに創作料理店を立ち上げました。42℃で1時間、低い温度で火を通す『とろけるスモークサーモン』が自慢のメニューです。今後、本業では建売事業をスタート、他業種としては宿泊業も同時にチャレンジします。まだまだ夢半ば、情熱と行動力を惜しまず邁進していきます。



「誰でも買える健康住宅」をコンセプトに起業。自然素材×最高品質の注文住宅「無垢ハウス」はオリジナルブランド。



低温で時間をかけて加熱するため、「食感がやわらかく、素材の持ち味を封じ込める」とか。



愛知県 豊山町
名古屋コーチンと釜飯 河良
店主 河村 将成さん 2013年度 国際教養学部国際教養学科卒

info 【TEL】0568-28-6006 【営業時間】11:30~14:30 17:00~22:00
【定休日】月曜日(祝日の場合は営業、翌日休み)
【所在地】愛知県西春日井郡豊山町大字青山金剛6-1
【アクセス】名鉄小牧線味美駅 車で約10分

契約養鶏場直送！新鮮な名古屋コーチンの
おいしさを、余すことなく堪能できる専門店。

在学中、学部の学びや留学を通し、「興味があることはやってみる！」。それが自分の軸となり、仕事にも好影響を与えていると思います。当店は昭和63年創業の名古屋コーチン料理と釜めしの専門店。肉、卵、出汁すべてにこだわりの純系名古屋コーチンを使用した親子丼や、パイタンスープで炊いた釜めしは自慢の逸品です。またコロナ禍で発売した親子丼のミールキットは2021年、百貨店等のパイヤー選考会で審査員特別賞を受賞しました。これからも名古屋コーチンを軸とした料理の美味しさや魅力を発信し、愛知県外のみならず海外にも出店していきたいです。



全国丼グランプリ(親子丼部門)で、令和2年から4年連続金賞受賞の「名古屋コーチン親子丼特上」(税込1,859円)。



からあげグランプリ(中日本しょうゆダレ部門)で3年連続金賞(令和2年は最高金賞)受賞の「名古屋コーチン唐揚げ」(税込1,320円)。

宮城県支部

支部長 千葉 道博

卒業年度・学部
1972年度 体育学部

支部への連絡先
mitihirotiba@yahoo.co.jp



あの震災から12年が経ち、復興もほぼやり終えて、ご支援いただいた校友の皆さまに今、改めてしみじみと感謝しています。新型コロナウイルス感染症が心配され、活動ができていませんでしたが、今後は支部会などで交流を深め、支部会員同士、助けあいながら元気に乗り越えられるよう協力していきたいと思ひます。

秋田県支部

支部長 佐藤 政一

卒業年度・学部
1969年度 体育学部

支部への連絡先
018-892-2792 (FAX可)



2024年度は秋田県支部の活動として、4年後に控えた北海道・東北ブロック支部長会と秋田県支部会の準備をはじめます。県を県南・県北・中央の3地区に分け、それぞれ2名ずつ準備委員を選出して活動いただく計画です。ご依頼の際には、ぜひ快くお引き受けくださいますようお願い申し上げます。

山形県支部

支部長 石川 宏

卒業年度・学部
1976年度 体育学部

支部への連絡先
ishikawafamily127@yahoo.co.jp



東日本大震災後、山形県には今もまだ1,148名の方が避難されています。私が住んでいる米沢市には、315名の方が避難されており、コロナ禍もあって4年ぶりとなりましたが、山形名物の芋煮会やスポーツ大会などで福島の方々と交流できました。これから復旧・復興が進み、1日でも早く地元で生活できることを願ってやみません。

福島県支部

支部長 山内 光樹

卒業年度・学部
1975年度 体育学部

支部への連絡先
up175512-7824@tbz.t-com.ne.jp



昨秋、郡山ビューホテルにおきまして相羽由光校友会長をお迎えし、9年ぶりとなる福島県支部会を開催しました。支部会員の参加者は多くありませんでしたが、楽しいひとときを過ごしました。今後も校友間の連携を密に、絆をさらに深め、支部の活性化を図らなければなりません。会員の皆さまよろしくお祈りいたします。

SPECIAL REPORT

各支部からのたより

全国46都道府県支部、海外5支部と、各地でさまざまな活動を展開している**校友会支部**。お住まいの地域の支部が、どんな活動をしているのか。今後の活動計画を2024年度の行事予定と併せてご紹介させていただきます。各支部の活動にどうぞご参加ください。

北海道・東北ブロック

北海道支部

支部長 高井 雅一

卒業年度・学部
1975年度 体育学部

支部への連絡先
s.kasuya@ishi-taikyo.or.jp (事務局長 糟谷)



8月にゴルフコンペ、9月に帯広市で4年ぶりの北海道支部会、11月には札幌市で学校部会の総会・懇親会を開催しました。コロナ禍前に実施していた事業をすべて再開できる運びとなりました。また8月には帯広市で全国高校総体も開催され、支部剣友会で歓迎会を催し、役員・審判員・監督等で来道した校友を激励しました。

青森県支部

支部長 米内 正明

卒業年度・学部
1972年度 体育学部

支部への連絡先
090-3364-5021



昨年は梅村学園創立100周年の記念式典が挙行されましたこと、誠におめでとうございます。コロナ禍というかつてない過酷な時を経て今、人々の生活様式や意識も変わりつつあります。2024年10月5日(土)には北海道・東北ブロック支部長会ならびに青森県支部会を開催予定です。皆さまのご参加をお待ちしております。

岩手県支部

支部長 田村 雄孝

卒業年度・学部
1969年度 体育学部

支部への連絡先
090-4886-7750 (SMS可 / 事務局長 佐藤義文)



ここ数年、コロナ禍のため開催できなかった岩手県支部の総会を開催予定です。支部活動が低迷する中、高橋良子さん(1969年度体育学部卒、岩手県弓道連盟理事)が「生涯スポーツ功労者」で文科省より表彰されました。大変喜ばしいことであり、めでたいことです。ぜひ、皆でお祝いしながら交流を深めたいと思ひます。

中京大学校友会







1958(昭和33)年、「会員相互の親睦と中京大学の発展に寄与すること」を目的に発足した中京大学校友会。(2019年4月～名称変更)
発足当時は商学部のみ、第1期卒業生が巣立った翌年度のことでした。
その後都道府県ごとに支部が立ち上がり、学校部会や学部校友会、さらには海外支部と、現在では全83の支部や部会、卒業生数約14万人という大きな組織に発展しています。

支部一覧

<p>46支部</p> <p>都道府県支部(ブロック別)</p> <p>北海道・東北 / 関東 / 中部 / 近畿 / 中国・四国 / 九州・沖縄</p>	<p>4支部</p> <p>愛知県支部</p> <p>名古屋 / 知多 / 尾張 / 東三河</p>	<p>5部会</p> <p>支部地区校友会</p> <p>下呂地区 / 関地区 / 高山・飛騨・白川地区 / 静岡県支部 静岡地区 / 京都府支部 京丹後地区</p>	<p>5支部</p> <p>海外支部</p> <p>台湾 / カナダ / オーストラリア / アメリカ / アメリカ東部</p>
<p>5部会</p> <p>愛知県学校部会</p> <p>八豊会 / 豊田みよし地区 / 愛知県立高等学校部会 / 特別支援教育部会 / 私立学校部会</p>	<p>7部会</p> <p>愛知県以外の学校部会</p> <p>北海道 / 富山県 / 石川県 / 山梨県 / 岐阜県 / 静岡県 / 三重県</p>	<p>4部会</p> <p>警察部会</p> <p>愛知県 / 岐阜県 / 三重県 / 山梨県</p>	<p>6部会</p> <p>学部・大学院校友会</p> <p>法学部 / 文学部 / 心理学部 / 社会学部・現代社会学部 / 経済学部 / スポーツ科学研究科 ※各学部には大学院修士生も含む</p>





校友会役員紹介 | 会長・副会長・顧問

[会長] [副会長]

 相羽 由光 1972年度 商学部 1974年度 商学研究科	 竹尾 悟 1969年度 文学部	 鈴木 揚一 1977年度 体育学部 1982年度 体育学研究科	 神谷 真吾 1982年度 体育学部	 種田 行男 1983年度 体育学研究科	 高橋 繁浩 1983年度 体育学部 1986年度 体育学研究科
--	---	--	---	---	--

 関根 満子 1990年度 法学部	 瀧 剛志 1993年度 情報科学部 1998年度 情報科学研究科	 平澤 誠 1993年度 経済学部 1998年度 経済学研究科	 寺尾 悟 1997年度 社会学部	 森田 大延 1997年度 経営学部	 明詠 光宜 2001年度 文学部 2003年度 心理学研究科
--	---	---	--	---	---

[顧問]

 松村 亜矢子 2003年度 経営学部	 土方 清 1968年度 商学部	 川岸 信一 1965年度 体育学部	 森谷 敏夫 1972年度 体育学部
--	---	---	---

▶長野県支部

支部長 辺見 元孝

卒業年度・学部
1981年度 体育学部

支部への連絡先
ybski2000@yahoo.co.jp



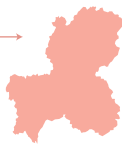


前年度に続き、2023年度も長野県支部会を開催できました。世代の隔たりなく交流ができ、大学生に戻れた会でした。私事ですが、所属していたアメリカンフットボール部が創部50周年を迎え、久しぶりに母校で試合を観戦しました。学生気分になり、「中京大学」というキーワード、何歳になっても最高だと思いました。

▶岐阜県支部

支部長 山田 良種

卒業年度・学部
1969年度 商学部

支部への連絡先
yamaco1414@yahoo.co.jp

岐阜県支部は、高山・飛騨・白川支部と関支部で活動しています。2024年度には西濃・岐阜地区、2025年度には東農地区で支部設立の動きがあり、岐阜の卒業生(9,739名 2023年現在)の学部や世代、部活の枠を超えた「集いの場」を目指していきたいと思ひます。中京大岐阜のHP(<https://chukyogifuob.gjgd.net/>)でも情報発信中です。

▶静岡県支部

支部長 大村 一雄

卒業年度・学部
1970年度 体育学部

支部への連絡先
jinnfujihagoromo1212@yahoo.co.jp / 090-7680-8197(杉山)




昨年も10月21日(土)に16名の参加者を迎えて継続開催できました。当日はブロック別支部長会と日程が重なり、支部長は欠席、校友会事務センターの皆さまにもご参加いただけなかったのは残念でした。参加者は、久しぶりの再会を喜び、会話が弾んでいました。次年度は中部ブロックの当番県にあたり、多くの校友の参加を楽しみにしています。

↳近畿ブロック

▶三重県支部

支部長 豊田 利一 **新支部長**

卒業年度・学部
1968年度 経営学部

支部への連絡先
kazuken0501@gmail.com (事務局 馬場 一美)






4年間お世話になった西田憲治支部長亡き後、11,000名超の校友を擁する三重県支部の代表として、会をまとめて参りたいと思ひます。2023年度は11月に3年ぶりの総会・ダンスイベント・支部会を開催。2024年度は11月16日(土)近畿ブロック支部長会と合わせた開催となります。皆さまの参加をお待ちしております。

▶富山県支部

支部長 野田 智

卒業年度・学部
1978年度 法学部

支部への連絡先
noda@po5.canet.ne.jp

2023年3月、中京大学と富山県は「就職支援に関する協定」を締結しました。富山県出身の学生に、就職に関する情報提供や富山県内の企業が行うインターンシップ受け入れの調整などを行い、学生のUターン促進につなげるものです。富山での就職を考えている学生の皆さん、この協定を大いにご活用ください。

▶石川県支部

支部長 森山 喜博

卒業年度・学部
1979年度 体育学部

支部への連絡先
090-3768-6730




2023年度は第17回石川県支部校友会・学校部会を開催できました。地道に積み重ねること17回、これからの課題も見えてきています。本県支部が取り組むべき課題としては、県支部全体の組織の確立と女性および若い世代の参加です。次年度より、人脈と連携を生かし、継続的かつ発展していくよう進めて参ります。

▶福井県支部

支部長 寺腰 聡 **新支部長**

卒業年度・学部
1981年度 体育学部

支部への連絡先
h-sin863@fukui-city.ed.jp(事務局長 新屋 弘)




一昨年の福井県支部校友会設立50周年記念事業に続き、昨年は12月2日、3年ぶりに通常総会・支部会を開催。支部会では新役員の紹介、また会を締めくくる学歌斉唱では参加者一同、肩を組み歌える喜びで笑顔が溢れました。当支部の新たな出発を意識した会となり、今後がますます楽しみです。2024年は12月7日(土)に開催予定です。

▶山梨県支部

支部長 山下 正人

卒業年度・学部
1971年度 体育学部

支部への連絡先
kitagawa.yukihiro@violet.plala.or.jp




近年、母校の充実・発展ぶりや、校友の世界的な活躍を誇らしく感じています。2023年10月21日に開催した中部ブロック支部長会には多くの校友会員が参加し、山梨県支部の団結を確認しました。今後、開催予定の山梨県支部会についても、1人でも多くの方に参加していただけるよう、ご協力をお願いします。

▶千葉県支部

支部長 新村 浩章

卒業年度・学部
1983年度 体育学部

支部への連絡先
h.nimr531@xa2.so-net.ne.jp




千葉県では、昨年10月に関東ブロック支部長会および千葉県支部会を開催いたしました。梅村学園創立100周年にあたるこの年に開催したこともあり、新しい中京大学の姿を知る良い機会となりました。出席できなかった千葉県の皆さま、次回はぜひご参加をお願いします。これまでにないつながりが生まれると思ひます。

▶東京都支部

支部長 三宅 祐一郎

卒業年度・学部
1987年度 商学部

支部への連絡先
yu.miyake88@i.softbank.jp





支部長を拝命して初の東京都支部会を開催することができ、まずはホッとしています。参加者の世代はさまざま、卒業年度の差が50年という交流が見られたのも、開学70周年を迎える中京大学だからこそですね。今年はさらにネットワークを拡大し、校友の輪を広げて開催したいと思ひています。皆さま、よろしくお願ひいたします！

▶神奈川県支部

支部長 諸石 晃

卒業年度・学部
1982年度 体育学部

支部への連絡先
a.moroishi@gmail.com




梅村学園が創設された1923年は関東大震災が発生した年で、神奈川県も甚大な被害に見舞われたことに改めて驚きました。横浜の山下公園は震災の瓦礫を埋め立てたと聞いたことがありますが、景色も良く、今の姿からは想像もできません。本年10月、神奈川県支部校友会が横浜で開催予定です。多くの皆さまの参加をお待ちしています。

↳中部ブロック

▶新潟県支部

支部長 山田 秀樹

卒業年度・学部
1980年度 体育学部

支部への連絡先
hide-224@topaz.plala.or.jp




2023年度もコロナ禍で、とくに目立った活動はできませんでしたが、中部ブロック支部長会に出席。開催地の校友の皆さまとの交流をはじめ、他県の支部長の方々から活動の様子を聞かせていただき、校友会の大切さを再確認したところです。今後は支部活動の活性化に向け、創意工夫を重ねていきたいと思ひています。

↳関東ブロック

▶茨城県支部

支部長 塚本 浩一

卒業年度・学部
1983年度 体育学部

支部への連絡先
0297-45-9796





新型コロナウイルス感染症の拡大により、何かと不自由な日々が続いていましたが、状況の鎮静化と規制緩和で通常の生活が戻ってきました。当支部では、10月末に中京大学名誉教授林邦夫先生を招聘し、剣道講習会ならびに支部会を開催して会員の親睦を深めました。2024年度こそ4年ぶりの茨城県支部会開催を、と考えています。

▶栃木県支部

支部長 渡辺 成美

卒業年度・学部
1984年度 体育学部

支部への連絡先
naru-w@tvoyama.ne.jp

活動らしい活動がここ数年できていない状態です。校友会員の活躍や情報などを会員の皆さま方と共有できるよう、今後、組織の活性化を図っていきたく思ひています。どうぞご協力ください。また何かお伝えしたいことなどありましたら遠慮なくご連絡ください。

▶群馬県支部

支部長 阿部 浩一

卒業年度・学部
1989年度 文学部

支部への連絡先
abe@maebashiikuei-h.ed.jp




昨年度の群馬県支部会開催以降、主だった活動はできていません。また、連絡の取れていない校友会員の皆さまも大勢いらっしゃいます。ぜひご連絡いただけますと幸いです。ここ群馬の地で、母校・中京大学のネットワークを築いていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

▶埼玉県支部

支部長 小島 正喜 **新支部長**

卒業年度・学部
1972年度 体育学部

支部への連絡先
yasuharahisatoshi15@gmail.com(事務局 安原)




11月19日、校友会埼玉県支部総会を実施しました。今回、役員改選を行い、40年の長きに渡り支部長を務めていただいた高木英朗先輩よりバトンが渡されました。これから埼玉県支部長として、微力ながら母校を応援し、校友の絆をさらに強くしてまいりたいと思ひます。今後とも宜しくお願ひいたします。

▶ 香川県支部

支部長 三好 利宏

卒業年度・学部
1984年度 体育学部

支部への連絡先
090-1574-9281




ここ数年、コロナの影響もあり支部活動ができていませんでしたが、5類へ移行し、久しぶりの支部会開催に向けて準備を進めていきたいと思います。支部としては会員同士がビジネス、趣味などでつながることにより、お互いの絆を深められる組織としていきたいと考えています。皆さまのご協力をお願いいたします。

▶ 愛媛県支部

支部長 定岡 孝明

卒業年度・学部
1980年度 体育学部

支部への連絡先
matsu.j.0327@ezweb.ne.jp (担当: 松浦 淳祐)




コロナも落ち着き、会員の皆さまも通常の生活に戻りつつあると思います。愛媛県支部としては、以前のような行事を計画、実施したいと考えていますので、ご協力をお願いいたします。会員の連絡方法の1つとして、LINEグループをたちあげましたので、ぜひ参加いただけますよう、ご連絡を重ねてお願いいたします。

▶ 高知県支部

支部長 尾木 文治郎

卒業年度・学部
1982年度 体育学部

支部への連絡先
chukyo.kochi@gmail.com




高知県支部では、卒業生や友人・知人が気軽に集える校友会支部、会員の拡大を目指して活動しています。2024年度は6月1日(土)に総会・交流会、2日(日)に梅村杯ゴルフコンペ、翌年1月18日(土)に新春名刺交換会を開催予定です。詳しくは高知県支部会員用LINEグループからも情報収集いただけます。どうぞご参加ください。



◎九州・沖縄ブロック

▶ 福岡県支部

支部長 武尾 一三

卒業年度・学部
1969年度 体育学部

支部への連絡先
090-5725-5832 (SMS可)

感染状況が落ち着いてきた中で福岡県支部校友会を10月7日(土)、福岡市にて開催しました。卒業生42名に参加をいただきました。久しぶりの会で、大学時代や卒業後のこと、近況報告など会話が弾み、最後は学歌で締めくくりました。皆、涙が溢れんばかりに感動し、次の開催をリクエスト。また機会をつくらうと思います。

▶ 岡山県支部

支部長 福島 正春

卒業年度・学部
1972年度 商学部

支部への連絡先
icf52405@nifty.com





会員の情報共有に県内LINEグループをたちあげましたので、ぜひ参加登録をお願いします。気楽に参加できる岡山県支部を目指しています。ご支援、ご協力よろしくお願ひします。今回は2024年9月28日(土)～29日(日)、倉敷アイビースクエアにて開催予定です。奮ってご参加ください。

▶ 広島県支部

支部長 高畑 伸穂

卒業年度・学部
1979年度 体育学部

支部への連絡先
nkoo21nk@yahoo.co.jp




9年ぶりとなる広島県支部校友会を、2024年10月26日広島市において開催します。ご案内は校友会事務センターから9月頃に発送されますが、転居等により住所不明の方も多数おられます。案内が届かなければ校友会事務センター、またはお近くの本支部役員までご連絡ください。多数の皆さまのご参会をお待ちしています。

▶ 山口県支部

支部長 浜岡 藤生

卒業年度・学部
1974年度 体育学部

支部への連絡先
083-259-8732




鳥取県で行われた中国・四国ブロック支部長会に、自分としては久しぶりに参加させていただきました。初めてお会いする支部長とも親しく接しながら、各県の活動状況を伺い感心させられる一方、悩みも共有できました。今後、会の活性化には若い校友の力が必要です。山口県では支部会が2年後に開催予定です。みんなで盛り上げていきましょう。

▶ 徳島県支部

支部長 武田 元成

卒業年度・学部
1990年度 社会学部

支部への連絡先
090-2892-0753 (SMS可)




徳島県支部の活動は、近年「阿波踊り」への参加のみとなっており、2023年8月13日に有名連「八千代連」のサポートを受け、総勢60名が栈敷へ踊り込みました。今回はコロナも少し落ち着きをみせたことから、県外からも多くの方にご参加をいただき、大いに盛り上がる事ができました。今年も皆さまのご参加をお待ちしております。

▶ 奈良県支部

支部長 高見 喬宏

卒業年度・学部
1967年度 体育学部

支部への連絡先
0745-82-3426




コロナが5類に移行し、普段の諸活動が再開される中、奈良県支部においても支部会の再開を検討しているところです。開催に際しては旧交を温めるだけでなく、お互いのビジネスにも役立つような人脈づくりのできる会にしていきたいと考えています。皆さまのご理解・ご協力をお願いいたします。

▶ 和歌山県支部

支部長 藤村 利行

卒業年度・学部
1978年度 体育学部

支部への連絡先
ryu-1130-1230@outlook.jp (事務局 久保隆作)




2024年、和歌山県支部校友会は支部発足から59年目を迎え、会員数も800名になろうとしています。本年は支部校友会総会・支部会の開催を予定しています。幅広い世代の方々に参加していただけるような取り組みを行いたいと考えています。会員の皆さまには何卒ご協力、ご参加いただけますようお願い申し上げます。

◎中国・四国ブロック

▶ 鳥取県支部

支部長 谷本 裕則

卒業年度・学部
1973年度 法学部

支部への連絡先
090-7127-1100 (SMS可)




コロナ禍で延期されていた鳥取県支部校友会を2023年11月に開催し、楽しい時間を共有できました。2024年度の活動は、校友の輪を広げること重点を置き、その一環としてLINEグループを活用したいと思っています。現在、多くの方が参加されていますが、未参加の方もおられます。ぜひ参加いただいて支部校友会を盛り上げましょう。

▶ 島根県支部

支部長 坂本 弘

卒業年度・学部
1984年度 体育学部

支部への連絡先
080-2893-2551 (事務局 佐藤 城)




一昨年度は中国・四国ブロック支部長会に合わせて島根県支部会を開催することができました。これを機に支部会の定例化を考えましたが、残念ながら2023年度は開催できませんでした。今後は支部会の開催に向けて、役員との連携をより一層、密にしていきたいと思います。会員の皆さまにはご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

▶ 滋賀県支部

支部長 梅村 忠生

卒業年度・学部
1978年度 商学部

支部への連絡先
te-matsu@zeus.eonet.ne.jp (事務局 松永 哲也)




新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類に移行し、人と人とのつながりが回復してまいりました。当支部では、コロナ禍により開催を見送っていた滋賀県支部校友会を2024年度に開催する予定です。多くの会員の皆さまに参加いただけるよう取り組んで参りますので、皆さまのご支援、ご協力をお願いいたします。

▶ 京都府支部

支部長 池本 敬博 **新支部長**

卒業年度・学部
1978年度 体育学部

支部への連絡先
iketurn@meiji-u.ac.jp




2023年10月、近畿ブロック支部長会に合わせて、京都府支部校友会を開催しました。京都府在住者や京都府内でお仕事に携わっておられる方、京都とご縁のある校友の皆さまが参加されました。世代や学部を超えた楽しい交流と親睦の場となりました。これからも皆さま方のご理解とご支援をお願い申し上げます。

▶ 大阪府支部

支部長 中岡 英彦

卒業年度・学部
1976年度 体育学部

支部への連絡先
090-9625-1983




大阪府支部は、残念ながらコロナ禍発生当初より支部会を開催できておりません。そこで役員会を再編、皆で相談し、2024年度の開催を目指して準備をはじめました。会員の皆さまには長らくお待たせして申し訳ありませんが、詳細が決まり次第、ご案内させていただきますので、よろしくお願いいたします。

▶ 兵庫県支部

支部長 井内 義延

卒業年度・学部
1969年度 体育学部

支部への連絡先
suga793906@outlook.jp (事務局 菅原 勝則)




新型コロナウイルス感染症は、国民生活に大きな影響を与え続け、校友会活動においても、ふれあいや集まりなど、つながりをつくる機会が失われました。2023年春には規制も緩和されましたので、これまで以上に校友会事務センターとの連携を密にし、真剣味の精神を受け継ぎながら、兵庫県支部校友会の活動に一層、努力する所存です。

海外支部

▶ オーストラリア支部

支部長 平原 照仁

卒業年度・学部
1989年度 社会学部

支部への連絡先
teruhito.hirahara@gmail.com



▶ 中華民国(台湾)支部

支部長 黄 文成 **新支部長**

卒業年度・学部
1981年度 体育学部

支部への連絡先
lines@yuntech.edu.tw (事務局 林 恩賜)



▶ カナダ支部

支部長 林 大輔

卒業年度・学部
1993年度 体育学部

支部への連絡先
noppaseiji@hotmail.com (事務局 野原 誠治)



▶ アメリカ合衆国支部

支部長 立川 正孝

卒業年度・学部
1966年度 商学部

支部への連絡先
iida.uni@gmail.com (飯田)



▶ アメリカ合衆国東部支部

支部長 大場 邦明

卒業年度・学部
1965年度 商学部

支部への連絡先
kuniakiNY108@gmail.com



▶ 校友会インフォメーション | ブロック別支部長会・支部校友会 開催予定(2024~2030年度)

ブロック	都道府県名	会員数 (住所判明者)	西暦						
			24	25	26	27	28	29	30
北海道・東北7道県	北海道	552						○	
	青森	131	○						
	岩手	130							○
	宮城	132		○					
	秋田	152					○		
	山形	123			○				
	福島	158							○
関東7都県	茨城	249		○					
	栃木	195					○		
	群馬	328						○	
	埼玉	423						○	
	千葉	447							○
	東京	740					○		
	神奈川	602	○						
中部8県	新潟	552							○
	富山	1,841				○			
	石川	1,610					○		
	福井	1,495							
	山梨	266							○
	長野	1,971						○	
	岐阜	9,916			○				
	静岡	5,427	○						

※各都道府県支部校友会は、原則として7年に1度の開催になります。
○・・・ブロック別支部長会 住所判明者は2023年7月現在

ブロック	都道府県名	会員数 (住所判明者)	西暦						
			24	25	26	27	28	29	30
近畿7府県	三重	8,298	○						
	滋賀	1,525						○	
	京都	968							○
	大阪	1,338			○				
	兵庫	2,204					○		
	奈良	478				○			
	和歌山	792							○
中国・四国9県	鳥取	430							○
	島根	523							○
	岡山	995							
	広島	1,223	○						
	山口	559		○					
	徳島	751				○			
	香川	838					○		
	愛媛	712						○	
	高知	553							○
	福岡	568							○
九州・沖縄8県	佐賀	217	○						
	長崎	296						○	
	熊本	253					○		
	大分	300							○
	宮崎	320		○					
	鹿児島	359			○				
	沖縄	351							

▶ 2024年度 ブロック別支部長会及び支部会開催予定(校友会事務センター共催分)

支部	開催日	開催地	会場	住所	アクセス	電話番号
青森県	10月5日	八戸市	八戸パークホテル	〒031-8570 青森県八戸市吹上1-15-90	JR八戸駅より車で20分	0178-43-1111
神奈川県	10月12日	横浜市	新横浜プリンスホテル	〒222-8533 神奈川県横浜市港北区新横浜3-4	JR新横浜駅東口より徒歩2分	045-471-1111
静岡県	10月19日	静岡市	ホテルアソシア静岡	〒420-0851 静岡県静岡市葵区黒金町56	JR静岡駅北口より徒歩1分	054-254-4141
広島県	10月26日	広島市	ホテルグランヴィア広島	〒732-0822 広島県広島市南区松原町1-5	JR広島駅に直結	082-262-1111
佐賀県	11月9日	佐賀市	ホテルニューオータニ佐賀	〒840-0047 佐賀県佐賀市与賀町1-2	JR佐賀駅より車で5分	0952-23-1111
三重県	11月16日	津市	プラザ洞津	〒514-0042 三重県津市新町1-6-28	近鉄津新町駅より徒歩2分	059-227-3291

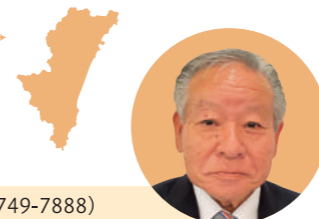
※ブロック別支部長会の基本的な開催時間は16時~17時50分、支部会の開催時間は18時~20時になります。

▶ 宮崎県支部

支部長 坂田 洋一郎

卒業年度・学部
1974年度 体育学部

支部への連絡先
090-2718-9660(事務局長:080-1749-7888)



2025年度には、大学の方々を迎えて九州・沖縄ブロック支部長会・支部会が本県で開催される予定です。これに向けて2023年10月28日(土)、宮崎市において幹部会を行い、1人でも多くの方が参加できるように県央・県南・県北ブロック毎に声かけし、気運を高めることで一致しました。皆さまの参加をお待ちしております。

▶ 鹿児島県支部

支部長 肥後 六男

卒業年度・学部
1970年度 商学部

支部への連絡先
080-4691-6407



<よき人間関係を>ハーバード大学では80年以上、多くの家族を科学的に追跡調査し、健康で幸福な人生を送るための要因について探求を続けてきたといいます。その最も重要な知見は「よい人間関係が必要だ」という点でありました。孤立や分断が深刻な時代だからこそ、校友の絆の中で、最良の開かれた対話で人間関係を創っていただきたいと思います。

▶ 沖縄県支部

支部長 大城 良孝

卒業年度・学部
1974年度 体育学部

支部への連絡先
098-987-2119



毎年8月に実施していた沖縄県支部校友会総会および懇親会の開催は、2023年度も休会となりました。しかし新型コロナウイルス感染症が「5類感染症」に位置づけられました。感染力などの性質が変わるわけではないとされていますが、今後は感染対策等に配慮しながら再開する方向で進めていきたいと考えています。

▶ 佐賀県支部

支部長 佐保 文明

卒業年度・学部
1970年度 体育学部

支部への連絡先
090-7539-5683(佐保携帯番号)



「国民スポーツ大会(旧国民体育大会)」が2024年10月5日~15日に佐賀県で開催されます。第31回国民体育大会(若楠国体)以来、48年ぶりとなります。また「第23回全国障害者スポーツ大会」は、10月26日~28日の3日間です。この機会に、自然の美しさや秋の味覚を堪能しがてら佐賀へお越しください。

▶ 長崎県支部

支部長 山野 和則 **新支部長**

卒業年度・学部
1980年度 体育学部

支部への連絡先
090-7581-5158(SMS可)



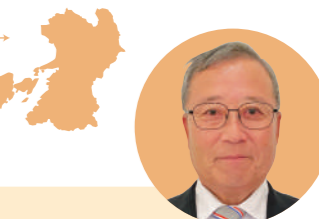
支部会の存続が危うい中、3年後の長崎県支部校友会設立50周年を目標に、支部会の魅力度アップや人脈の拡大などに努め、若い会員の掘りおこしや参加意識の高揚を図っていきたくと思っています。講演会の実施、若者限定の支部会、大学見学ツアーの実施、現役大学生との交流など何らかの手立てを講じることを検討していきたくと思っています。

▶ 熊本県支部

支部長 陶山 三千也

卒業年度・学部
1978年度 体育学部

支部への連絡先
suyama.michiya8@gmail.com



今年こそは、と思いつつ、なかなか開催できない熊本県支部校友会ですが、2024年秋には開催したいと思っています。本当に久しぶりとなります。3年後の2027年には、九州・沖縄ブロック支部長会・支部会も開催予定です。それまでには、熊本県内の校友会組織の活性化を図りたいと思います。皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

▶ 大分県支部

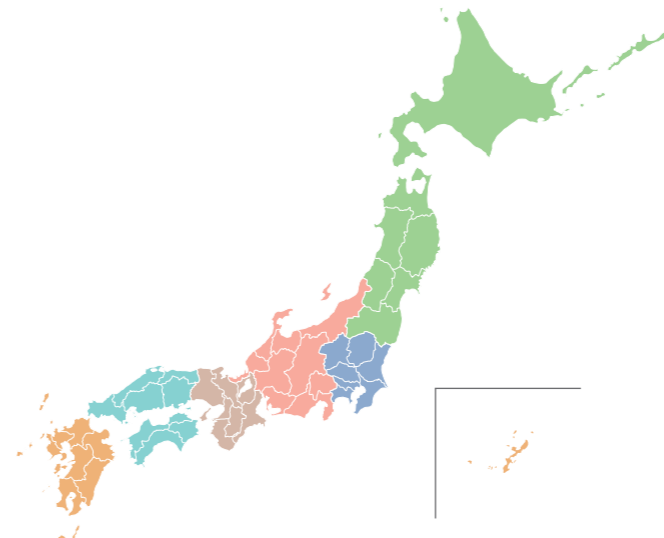
支部長 森本 秀治

卒業年度・学部
1971年度 体育学部

支部への連絡先
090-9656-3188(SMS可)



石井前支部長より後任をお引き受けすることになりましたが、残念なことに支部組織づくりもできていないのが現状です。ようやくコロナも収まり、活動の制限もなくなりました。先輩・後輩と気軽に交流しながら母校愛を深め、ぜひ支部組織づくりにもご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。





十一月四日(土)、四年ぶりに「中京大学校友会社会学部・現代社会学部懇親会」を豊田キャンパス二号館学生ラウンジにて開催しました。第三回となる今回は教員や卒業生など約八十名が参加。人がつながり創生される『社会』と、その多様性を研究テーマとする学部らしく、お子さま連れの参加者も多く、キッズコーナーでは現役の学部生が子どもたちと遊び、その傍らで親となった卒業生同士が談笑する姿も見られました。来賓として梅村清英総長・理事長、学長をはじめ、退職された教員五名を迎え、懐かしい恩師との思い出話や近況報告に花を咲かせました。



十二月十六日(土)、名古屋キャンパスで五年ぶりに「第三回 経済学部校友会総会・懇親会」を開催。梅村総長・理事長、学長をはじめ、経済学部小林学部長、椿先生、教員OBの鐘ヶ江先生、岩下先生にもご出席いただき、校友を含む三十七名が親睦を深めました。第一部では内田俊宏学園常任理事・経済学部客員教授にご講演いただき、第二部の懇親会では、河元伸吾会長より、次年度より金子拓也氏(二〇〇三年度卒)に会長職をバトンタッチするとの報告がなされました。その後、和やかな雰囲気での懇談が行われ、二年後の再会を約束して閉会となりました。



天候にも恵まれた八月二十六日(土)、ビクトリアにて母校の語学留学生二十四名との昼食交流会を開催しました。上遠野顧問、江佳子、野原のバンクーバー在住者が一台の車に乗り合わせ、フェリーでビクトリアへ移動。現地の林支部長、準会員であるBader、ブライアン、ヨシコ夫人と合流しました。二時間ではありましたが、学生一人ひとりに留学の感想と今後の抱負を聞くことができ、有意義な時間となりました。将来、海外に住みたいという学生もいましたが、私たちが助けになるようなことがあれば、ぜひお手伝いさせていただきますと思います。



九月二日(土)、台湾・台中にて台湾支部校友会を開催。金澤秘書部長による挨拶に始まり、梅村学園創立一〇〇周年記念DVDを鑑賞。伊藤附属高校長の乾杯のご発声で支部会がスタートしました。今年度、新会長となった黄文成(前台北市立副学長)からは「母校の発展のため全力を尽くすとともに、台湾支部の活動にお力添えを賜りますようお願いいたします」ご挨拶もありました。最後は学歌を斉唱し、台湾支部校友会のリーダーである陳先生と黄文成会長によるご挨拶で閉会となりました。来年の台湾支部校友会総会は台北で開催予定です。

学部・研究科
社会学部・現代社会学部

学部・研究科
経済学部

海外支部
カナダ支部

海外支部
中華民国(台湾)支部

REPORT

「支部校友会」開催報告

2023年5月、新型コロナウイルス感染症が5類感染症へと移行。その日を心待ちにしていた校友が集い、各国・各地域で多彩な活動が展開されました。

学部・研究科
体育学研究科



「第七十三回 日本体育・スポーツ・健康学会大会(同志社大学今出川校地)」の初日終了後、からすま京都ホテルにて中京大学スポーツ科学研究科校友会を開催しました。コロナ禍前の二〇一九年以来、四年ぶりの会となりました。川西正志会長をはじめ、各大学の教員や現役の大学院生ら、四十八名が出席。久しぶりの再会に参加者の喜ぶ姿が印象的でした。次回は「第七十四回 日本体育・スポーツ・健康学会大会(福岡県)」の開催時と合わせ、中京大学スポーツ科学研究科校友会を実施予定です。

学部・研究科
心理学部・心理学研究科



十一月四日(土)、六年ぶりとなった「第二回 中京大学心理学部・心理学研究科校友会総会」を名古屋キャンパスヤマテホールにて開催しました。本総会には教員や卒業生など五十二名が参加。総会では二〇二三年十二月に『日本ロールシャッハ学会第二十七回大会』が中京大学で開催されること、その大会会長を本学部教員である明瀬光宣教授が務めることから、寄付金贈呈式を行いました。来賓には梅村清英総長・理事長、学長をはじめ、退職をされた先生方を迎え、懐かしい顔ぶれが並び、思い出話や近況報告に花を咲かせました。

学部・研究科
法学部



十一月四日(土)、名古屋キャンパスにて、現役の法学部生との交流イベントである「お仕事フェア」(法学部学生団体(Laris)との共催)、二〇二二年に退職された愛知正博教授の退職記念講演会および懇親会を開催しました。お仕事フェアには卒業生と在学生合わせて四十二名、講演会には八十一名、懇親会には六十五名がそれぞれ参加し、盛会裏に終えることができました。法学部校友会は、今後も会員相互の親睦および現役学生とのつながりを深め、法学部ならびに母校の発展に寄与すべく、さまざまな活動を企画・展開してまいります。

都道府県支部

高知県支部

五月二十七日(土)、ホテル高砂にて高知県支部総会・交流会を、翌二十八日(日)には黒潮カントリークラブにて、梅村杯争奪ゴルフコンペを開催。また年をまたいで二月二十日(土)には新年会を実施しました。

二〇二四年度は支部総会・交流会を六月一日(土)、梅村杯争奪ゴルフコンペを二日(日)に開催予定です。多くの校友の皆さまにお声がけいただき、気軽に「参加ください」。

当県支部ではICTを活用した情報共有・発信に取り組んでいます。どうぞ積極的にご利用ください。詳しくは、事務局までお問い合わせください。



都道府県支部

東京都支部

七月二十九日(土)、銀座七丁目にある銀座ライオンビル六階において、大学関係者八名、卒業生三十名が参加し、三年半ぶりとなる「東京都支部校友会」を開催しました。

まずは新支部長の挨拶後、講師をお招きして「人生二〇〇年時代を楽しく過ごすために今、必要なこと〜日本のお金事情・効果的な資産運用〜」をテーマに講演会を実施。その後、梅村総長・理事長、学長、寺尾校友会副会長にご挨拶いただき懇親会となりました。会では一九六六年度卒から二〇一六年度卒まで、幅広い世代が精力的に懇親を深めました。次回が待ち遠しいですね！



都道府県支部

徳島県支部

八月十三日(日)、有名連「八千代連」のサポートを受け、夏の恒例行事となった阿波踊りに参加しました。

コロナ禍での感染状況も少し落ち着きを見せたこともあって、今年度は県外からも多くの参加者が集結。総勢六十名が二カ所の機敷に踊り込み、大いに盛り上がる事ができました。

阿波踊りへの参加は毎年八月十三日と決まっています。校友の皆さま、ぜひ徳島へ足をお運びいただき、「参加ください」。初めての方はもちろん、「家族連れの参加も大歓迎です。楽しい思い出をつくりませんか」。



都道府県支部

北海道支部

九月十六日(土)、コロナ禍も明け、数年ぶりに「北海道支部校友会」を帯広市にて開催しました。

連休やオーバーツーリズム、そして新型コロナウイルスの五類移行から半年も経っていないことへの不安もあつてか、道内外の参加者は十八名、大学関係者五名と合わせて総勢二十三名。

やや少ない人数ながら、校友との久しぶりの再開ということで参加された皆さん、和気あいあいと歓談を楽しみ大変盛り上がりしました。



都道府県支部

鹿児島県支部

九月三十日(土)、六年ぶりとなる鹿児島県支部校友会を開催しました。久しぶりに顔を合わせ、新型コロナウイルス感染症の中でのどかしい生活、長かった苦渋と悲哀に満ちた日々を弾きとばすような笑顔で溢れました。

剣道の林先生や校友の皆さまにもご参加いただいて始まった支部会では、今まで会えなかった憂さを晴らすように会話が途切れず。さらに笑い声まで重なり合う明るい空気に包まれて、大変盛り上がりしました。閉会后は、それぞれ気の合う仲間たちと二次会へと流れていきました。



都道府県支部

岡山県支部

九月三十日(土)、ピュアリティまきび(岡山)にて岡山県支部校友会を五年ぶりに開催しました。参加者四十八名で交友を深め、大いに盛り上がりました。

また大学からは梅村清英総長・理事長、寺尾校友会事務センター長に参加いただき、「挨拶、乾杯をお願いしました」。

翌日は梅村杯コンペを岡山CCC桃の里コースにて開催(参加者五組十八名、皆で汗を流しプレーを楽しみました)。

次回は二〇二四年九月二十八日(土)〜二十九日(日)倉敷アイビースクエアにて開催予定です。



都道府県支部

福岡県支部

十月七日(土)、「九州・沖縄ブロック支部長会および福岡県支部会」が福岡市にて開催されました。

九州各県の支部長はじめ県下一円より、総勢四十三名にご出席いただき、コロナ禍の影響で久しぶりの福岡県支部校友会となりました。学生時代の思い出や近況等の話で盛り上がり、最後に学歌をうたつて閉会となりました。

「元気なうちにまた会おう」と、以前のように年一回の開催を希望される方が大変多くいらっしゃいました。希望に添えるよう、これから世話人会も頑張っていこう!!と思えます。



都道府県支部

千葉県支部

十月十四日(土)、千葉市内のホテルスプリングス幕張を会場に、「関東ブロック支部長会および千葉県支部会」を開催し、情報交換を行いました。

千葉県支部との懇親会では、梅村清英総長・理事長、学長をお迎えして開催されました。支部会の冒頭、学園創立一〇〇周年記念式典のDVD報告があり、大いに盛り上がった式典の様を見ながら、今後中京大学が目指す姿を知る良い機会となりました。変革の時代に挑戦する母校の姿を頼もしく感じたこともあつて、その後の懇親会はなごやかな会となりました。



都道府県支部

山梨県支部

十月二十一日(土)十八時より、甲府市のシャトレ・ゼホテル談露館において、「中部ブロック支部長会および山梨県支部会」を開催しました。山梨県内の会員二十八名と校友会本部九名、さらには六名の地区支部長の皆さまにご出席いただきました。

まずは相羽由光校友会長のご挨拶。その後、梅村学園創立一〇〇年のあゆみをDVDで紹介いただきました。また当支部会員でもある篠田善之V.F甲府監督に、山下支部長が花束を贈呈して激励。最後は全員で肩を組み、学歌を斉唱して幕を閉じました。



都道府県支部

静岡県支部

十月二十一日(土)、十八時半より、静岡市内において静岡県支部校友会を開催しました。

一昨年、昨年と継続開催となった今年度は、中部ブロック支部長会と日程が重なり、支部長不在、大学関係者の参加もありませんでしたが十六名が出席。集まった皆さん、年齢の枠を超えて盛り上がり、閉会の二十一時まで楽しく過ごしました。

二〇二四年十月には、中部ブロック支部長会が静岡県で開催される予定で、次年度はより多くの校友が集まることを願って会を終了しました。



都道府県支部

茨城県支部

十月二十八日(土)、守谷市内で「茨城県支部総会・支部会」を開催しました。

当日は、中京大学剣道部名誉教授の林邦夫先生をお招きして、午後二時から林先生を囲んで懇親会を行いました。参加者は十六名と若干、少人数ではありましたが、それぞれの近況報告や林先生の誕生会などを行い、大変盛り上がりました。

会の締めくくりには、全員で学歌と部歌を元気に斉唱し充実したひとときを過ごすことができました。今後さらに盛り上げていければと思います。



都道府県支部

宮崎県支部

二〇一九年に十数年ぶりとなる「宮崎県支部校友会」を開催。その後、新型コロナウイルスの影響により開催中止を余儀なくされてきましたが、十月二十八日(土)、幹部会を久ぶりに実施しました。

宮崎市では、二〇二五年に大学関係者を迎えて九州・沖縄ブロック支部長会を予定しており、同時に開催される宮崎県支部校友会に向けて機運を高めることで一致しました。ぜひ多くの皆さまと旧交を温めたいと思います。連絡の取れない支部会員の情報提供など、ご協力をお願いします。



都道府県支部

長崎県支部

十月二十八日(土)、諫早市にて長崎県支部校友会を三年ぶりに開催しました。久しぶりに顔を合わせ、健康で再会できたことを喜び合いました。

総会では、十三年間長崎県支部長として尽力された妻鹿実支部長が退任し、新たに山野和則事務局長が兼任で支部長に就任することとなりました。

また支部会では、近況報告や今後の支部会の在り方など話題が尽きませんでした。最後は福井泰紀副支部長の万歳三唱で閉会。

二〇二四年度は、佐世保市で開催予定です。ぜひご参加ください。



都道府県支部

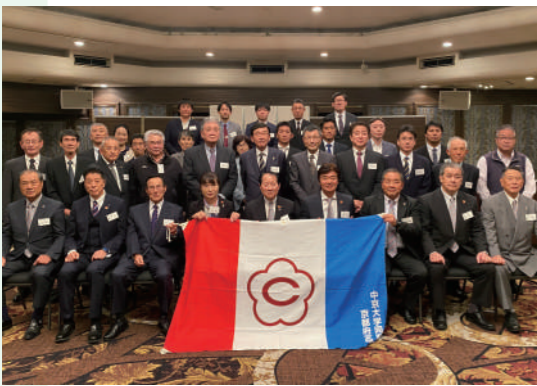
京都府支部

十月二十八日(土)、TKPガーデンシティ京都タワーホテルにて、「近畿ブロック支部長会および京都府支部会」が開催されました。

相羽由光校友会長、高橋繁浩校友会副会長、ご出席のもと、総勢四十七名が参加。老若男女問わず、世代間の融和を感じる楽しいひとときを過ごすことができました。

大学卒業以来、約五十年ぶりの思い出話に感激ひとしおの方、再会を約束される方の姿もあちこちで見られ、大いに親睦を深めていただきました。

ご参加をいただきました皆さまには感謝とお礼を申し上げます。



都道府県支部

福島県支部

十一月十二日(土)、郡山ビューホテルで「北海道・東北ブロック支部長会および福島県支部会」を開催しました。相羽由光校友会長、寺尾校友会事務センター長、曾根校友会事務センター長補佐、各務付部長、北海道・東北各支部長出席のもと、九年ぶりとなる集いでした。

DVD上映では学園創立一〇〇周年記念式典、中京大学の今昔が映し出され総合大学として発展した姿に感動しました。出席者は情報交換や思い出を語り合うなど、それぞれに親交を深める有意義な会となり、最後は全員で声高らかに学歌を斉唱し閉会しました。



都道府県支部

鳥取県支部

コロナ禍で、二年延期となっていた「中国・四国ブロック支部長会および鳥取県支部会」を十一月十八日(土)、倉吉シティホテルで開催しました。

七年ぶりの開催となり、相羽校友会長をはじめ大学関係者、中国・四国ブロック支部長、鳥取支部会員の皆さまの総勢四十三名にご参加いただき、楽しいひとときを共有できました。反省点としては、時間を早め「集まりやすい時間帯」にするなどの検討も必要だと感じました。

また、多くの皆さまから梅村学園創立一〇〇周年の寄付をいただきました。この場を借りて感謝申し上げます。



都道府県支部

埼玉県支部

埼玉県支部総会を十一月十九日（日）、プリランテ武蔵野（さいたま新都心）で三年ぶりに開催。校友会事務センターより寺尾センター長、各務付部長にご臨席賜り、「ご挨拶と二〇〇周年記念DVDの披露で盛り上げていただきます」。

支部総会では、約四十年間埼玉県支部を支えていただいた高木英朗支部長から小島正喜新支部長へバトンを渡し、新たなスタートとなりました。

また支部会では、八十歳の宮下洋先輩（1966年度体育学部卒）から自己紹介を始め、十五名の参加者全員が個性あふれる挨拶を披露、笑いの絶えない楽しい時間を過ごすことができました。



都道府県支部

三重県支部

十一月二十三日（祝）、津市のプラザ洞津において三年ぶりに総会・支部会（学校部会含む）を開催。総会では五十六名が出席、規約の一部改正・次年度の開催について審議等を行いました。

支部会の冒頭、三重高校ダンス部がパフォーマンスを披露し、エネルギーあふれるダンスで会場を沸かせてくれました。また学園創立一〇〇周年記念DVDを鑑賞後、高橋繁浩校友会副会長より「ご挨拶いただきました。途中、校友によるハーモニカ演奏や手品の余興もあり大変盛り上がりしました。」

最後は全員で学歌を斉唱し、盛会のうちに終わることができました。



都道府県支部

石川県支部

十二月二十五日（土）、石川県支部校友会・学校部会を開催することができました。まずは「健康寿命を延伸する運動と栄養」をテーマに、京都大学名誉教授・中京大学客員教授の森谷敏夫学園理事より「講演いただきました。健康寿命を延伸する秘訣をエビデンスに基づきご教授いただき、大変勉強になりました。」

また、その後の支部会では、梅村学園創立二〇〇周年記念DVDを視聴。それぞれが過ごした時代を懐かしく思い起こすとともに、母校発展の喜びを皆で分かち合いました。



都道府県支部

長野県支部

コロナ明けの昨年度に続き、十一月二十五日（土）、長野県支部校友会を開催しました。参加者のリクエストに添える形で二年連続の開催となりました。「中京大学」をキーワードに幅広い世代の校友が集い、学生時代の思い出話を花を咲かせながら、ほんの一瞬でも大学生に帰れる雰囲気が最高でした。

今回の参加者が一人でも校友を誘えば、次回は倍の規模になると約束して閉会。また校友会事務センターから曾根センター長補佐、今村課長補佐にご参加いただき、大変盛り上がりました。これからもよろしくお願ひします。【大学生に戻る時】#中京大学#OB会#校友会#長野県支部・YouTube この日の模様をYouTubeにアップしました。



都道府県支部

福井県支部

福井県支部校友会設立五〇周年記念事業を終え、コロナ禍前の落ち着きを取り戻した十二月二日（土）、ザ・グランユニアーズホテルフクイ会場に、福井県支部総会および支部会を開催しました。

校友会本部・支部会員を合わせて三十名が出席して行われた総会では、鈴木支部長の退任に伴い、二〇二四年度より寺腰前副支部長が新支部長に選任されました。その後、日本自転車競技連盟の中梶秀則副会長による講演会、終始なごやかムードで交友を深めた支部会となりました。二〇二四年は十二月七日（土）に開催予定です。皆さまのご出席をお待ちしています。



都道府県支部

熊本県支部

県北に位置する城北会では、十二月十三日、山鹿の「むら本」において、忘年会を兼ねた府内君（二〇〇三年度体育学部卒）の厄明けの祝宴を開催しました。

県内においてもインフルエンザが流行し、各地で学級閉鎖となっている中、学校関係の先輩や後輩の欠席が目立ちましたが六名が集いました。府内君本人には災いは無かったことと、先回の厄入りの儀と宴によつて免れたようでした。先輩諸氏は健康や体力について、また近況報告など思い思いの話で交流を深めながら、次回への参加を促し、盛会のうちにお開きとなりました。



学校部会

愛知県学校部会 特別支援教育部会

九月九日（土）、ルブラ王山にて「愛知県学校部会特別支援部会」を開催。新型コロナウイルス感染防止のため、飲食を伴う懇親会は残念ながら中止となりましたが、三十三名の校友が久しぶりに集まり総会と情報交換を行いました。

情報交換では、学校に関わることでなく、趣味などのプライベートな話にまで発展、大いに盛り上がりました。現在、特別支援部会の会員は三百名を超えています。今回の参加者はその一部ではありますが、「コロナ禍で切れそうになっていた「つながり」を再確認することができた有意義な会となりました。」



学校部会

北海道支部 学校部会

十二月二十五日（土）、スポーツ科学部草薙健太准教授、各務豪紀付部長のご臨席を賜り、「北海道支部第十五回学校部会」を開催しました。

総会後の支部会では、学園創立一〇〇周年記念式典や中京大学の今昔をまとめたDVDを上映。その後、草薙准教授から大学の近況報告をいただき、躍進し続ける母校の様子に、驚きとうれしさが溢れてきました。会の結びに中京大学学歌を参加者全員で歌い上げ、閉会となりました。今回も世代を超えて深く交流することができました。



HONOR

校友会員の栄典・栄誉

社会や多くの人のために功労のあった方、優れた行いのあった方などを国が表彰する叙勲。
2022年度・2023年度も多くの校友会員が名誉ある勲章や表彰を授与されました。

令和4年度 春

瑞宝双光章

1970年度 体育学部卒 矢黒 憲昭さん【学校法人梅村学園 理事長付参与】

大学卒業後は愛知県警察官を拝命し、管理部門や刑事部門を中心に38年間従事しました(最終勤務・中川警察署長)。警部時代には本部の監察官室訟務係を務め、県警の民事・行政事件の処理を担当。弁護士と共に調査や証拠の収集、裁判へも参加しました。これらの経験をもとに、理事長付参与として母校に貢献できればと願っています。



令和5年度 春

瑞宝双光章

1972年度 体育学部卒 大谷 貞雄さん



これまで歩んできた道程を振り返ってみますと、卒業後は学校現場に立ち、その後も和歌山県教育委員会の社会教育主事や校長職を務めさせていただきました。今回の受章をうけ、これまでの多くの出会いやお世話になった方々に、感謝の気持ちでいっぱいです。

令和5年度 春

旭日小綬章

1959年度 商学部卒 樽本 英信さん【中京大学名誉教授】



中京商業学校、中京大学を卒業後、中京中学教員、文学部教授となり梅村学園には50年余りお世話になりました。高校時代に中林子鶴先生と出会い書道を始め、やがて書道好きな仲間が集まり大学書道部ができました。この度、永年の書道界振興への寄与が認められ栄誉を頂戴しました。今後も後進の育成に努めてまいりたいと思います。

令和5年度 秋

瑞宝双光章

1972年度 法学部卒 野村 秀雄さん



宮崎県庁と都城市副市長、合わせて40年間、地方行政に従事しました。令和5年秋の叙勲において瑞宝双光章受章の栄に浴し、身の引き締まる思いです。8年目を迎えた地域の「みまもり活動」を、今後も続けていきたいと思っております。

令和5年度 春

瑞宝单光章

1972年度 法学部卒 田尻 博一さん



この度、瑞宝单光章を賜り感謝しています。受章にあたり、お世話いただいた皆さま方、また和歌山県警での警察人生34年間にわたり支えていただいた皆さま方にお礼申し上げます。今は感謝の気持ちでいっぱいです。

令和5年度 秋

文部科学省 生涯スポーツ功労者 表彰

1969年度 体育学部卒 高橋 良子さん(旧姓大崎)



高校時代から始めた弓道でインターハイに出場し、岐阜国体では3位入賞。大学4年次の長崎国体で初優勝、卒業時に名誉ある創立者賞をいただきました。教員時代も順調な競技生活は続き、指導者としては全国高体連の海外派遣監督を務めるなど、恵まれた弓道人生でした。授与式では室伏スポーツ庁長官に表彰いただき感激しました。

令和5年度 秋

瑞宝双光章

1971年度 体育学部卒 深江 長敬さん【学校法人梅村学園 理事長付参与】



卒業後は愛知県警察官を拝命し、主に警備警察部門に従事(最終勤務・中部空港警察署長)。成田闘争、昭和天皇皇后両陛下や上皇上皇后両陛下の警備に従事したことなど記憶に残っています。現在、中京大学に嘱託職員として務めており、梅村学園100周年の年に、このような栄誉に浴したことを励みに精進していきたいと思っております。

クラブ
美術部OB・OG会
としわ会



四月十一日(火)から十六日(日)まで、名古屋市民ギャラリー栄にて「第二十一回中京大学美術部OB・年輪会展」を開催しました。
今回は会員九名による油絵・水彩画・写真作品の計四十一点を展覧。どれもハイレベルで質の良い作品ばかりであり、コロナ禍の開催にもかかわらず、ご来場いただいた五百余名の皆さまから高評価を頂戴しました。
次回の第二十二回展も同会場にて、二〇二四年四月中ごろの開催を予定しています。校友、大学関係者からの出品を心よりお待ちしております。

クラブ
書道部



十一月四日(土)、恩師である樽本樹郎(英信)先生の旭日小綬章受章のお祝いに合わせ、書道部校友会を開催しました。先生は昭和十二年生まれの八十七歳ながら、今も書道界の重鎮として活躍されています。
当日は約九十名の校友が中部地区のみならず、関東や関西からお祝いに駆けつけました。また久しぶりの再会に校友同士話が尽きませんでした。
そして恒例の、先生に揮毫いただいた色紙抽選会は大変盛り上がりましました。本年は書道部創部六〇周年を迎えます。今回参加できなかった方々もぜひご参加ください。

クラブ
珠算部OB・OG会
あく友会



十一月十八日(土)、「そろばんコンクール」二連覇・暗算コンクール二連覇の黒川讓二君を祝う会を、イタリア家庭料理「トロンコ」にて開催。コロナ禍で四年ぶりの集いでしたが、高齢の方も多く、少人数の参加でした。「生涯現役 三〇連覇を目指せ!」とお祝いの手紙も届きました。
珠算部は中京大学と共に発展し、十番教室で、朝練で読み上げ算をする。廊下の窓際には、人だかりでした。時代、時代の、部活の苦しみ楽しみは今となっては良き思い出です。全国の「あく友会」の皆さん、次回は元気でおいししましょう。

クラブ
硬式野球部OB会



十二月二日(土)、四年ぶりとなる硬式野球部総会・懇親会を名古屋カントリーパレスにて開催しました。梅村清英総長、理事長、学長をはじめとする来賓の方々を含め、二十代から四十代を中心に、総勢百二十名を超える大勢の皆さまにご参加いただきました。
懇親会では、懐かしい思い出話や仕事の話などで終始盛り上がりました。また引退した四年生からは就職報告と決意表明、新キャプテンからは次年度に向けた抱負が述べられ、OB会も一致団結してサポートすることを確認しました。毎年実施予定ですので、今回参加できなかった卒業生もぜひご参加ください。

2022年度 中京大学校友会 決算報告書

会計期間:2022年4月1日～2023年3月31日

収入		支出	
前期繰越金	534,521,498 円	各会開催費	4,988,355 円
校友会費	233,145,000 円	開催支援費	698,000 円
受取利息	4,209 円	奨励費 課外活動奨励金	4,400,000 円
雑収入	558,527 円	課外活動援助費	630,000 円
以下余白		旅費交通費	4,328,793 円
		通信運搬費	19,429,995 円
		印刷製本費	26,242,940 円
		支払報酬	7,011,740 円
		支払手数料	279,804 円
		関係者贈答費	7,803,465 円
		交際費	73,546 円
		会議費	19,464 円
		租税公課	642 円
		新聞図書費	0 円
		消耗品費	140,433 円
		雑費	0 円
		諸会費	2,750 円
		寄付金 校友会奨学費	66,222,500 円
		大学設備整備事業支援費	10,000,000 円
		100周年記念事業支援金	50,000,000 円
		予備費	291,500 円
		次期繰越金	565,665,307 円
合計	768,229,234 円	合計	768,229,234 円

2023年度 中京大学校友会 予算報告書

会計期間:2023年4月～2024年3月

収入		支出	
前期繰越金	565,665,307 円	各会開催費	17,000,000 円
校友会費	233,145,000 円	開催支援費	3,000,000 円
受取利息	4,000 円	奨励費 課外活動奨励金	5,000,000 円
雑収入	500,000 円	課外活動援助費	1,500,000 円
以下余白		旅費交通費	15,000,000 円
		通信運搬費	40,000,000 円
		印刷製本費	20,000,000 円
		支払報酬手数料	14,500,000 円
		関係者贈答費	14,000,000 円
		交際費	500,000 円
		会議費	100,000 円
		租税公課	5,000 円
		新聞図書費	5,000 円
		広告宣伝費	1,000,000 円
		消耗品費	450,000 円
		雑費	10,000 円
		諸会費	13,000 円
		寄付金 校友会奨学費	85,000,000 円
		大学設備整備事業支援費	10,000,000 円
		予備費	572,231,307 円
合計	799,314,307 円	合計	799,314,307 円

※中京大学校友会理事会の議を経て承認(2023年5月13日)

課外活動奨励賞 表彰式

スポーツおよび学術・文化活動の各分野において、
課外活動で優秀な成績を収めた個人・団体を称え表彰式が行われました。

2022年度 課外活動奨励賞(下半期)表彰式



二〇二二年度課外活動奨励賞(下半期)の表彰式が五月三十一日、豊田キャンパスにて行われました。
課外活動奨励賞は、課外活動において優秀な成績を収めた個々の学生や団体に対し、中京大学校友会が年二回、表彰を行うものです。
二〇二二年度下半期の活躍を称える今回は、個人一名と三団体が受賞。
表彰式では、高橋繁浩校友会副会長から受賞者に対して賛辞が贈られ、賞状と奨励金が手渡されました。

2023年度 課外活動奨励賞(上半期)表彰式



名古屋キャンパス

二〇二三年度課外活動奨励賞(上半期)の表彰式は、十二月十九日、名古屋・豊田の両キャンパスで同日開催されました。
課外活動奨励賞は、下半期と同じく、課外活動で優秀な成績を収めた個人および団体を対象に、中京大学校友会が奨励金を贈り、今後より一層、活動の高揚を図っていけるよう表彰を行うものです。
二〇二三年度上半期の活躍を称える今回は、インカレを制し大学日



豊田キャンパス



本一になった水泳部(女子)、ソフトボール部(女子)をはじめ、スポーツ分野および学術・文化活動分野の個人(リレー・ダブルスを含む)三十七名と八団体が受賞。
表彰式当日、名古屋キャンパスでは校友会事務センター長 豊田キャンパスでは高橋繁浩校友会副会長から、受賞者に対する賛辞の言葉と共に賞状と奨励金が手渡されました。学生たちの今後、益々の活躍に期待したいところです。

LINE登録のお知らせ

LINEアカウントから二次元コードを読み取り、友だち登録するだけ。



こちらからも登録できます!

そのほか名前検索

ID検索

中京大学校友会・
教育後援会事務センター

@chukyo_alum-parent

友だち登録するだけで、校友会や教育後援会など多彩なイベントや取り組み、在学生や卒業生の活躍など中京大学の「イマ」をお届け!

校友会・教育後援会会員サイトにLINE連携していただくと校友会員は住所変更が簡単になります。教育後援会員は各学部の必要情報のみ受け取れるようになります。

登録者限定イベントも開催しています。ぜひご参加ください!

校友会・教育後援会会員サイト登録手順

- 1 「校友会・教育後援会会員サイト」のアイコンを選択
- 2 「メールアドレス確認」をタップしてメールアドレスを入力後、送信
- 3 本登録のご案内が届きますので、URLをタップ
- 4 「LINEで登録」を選択
- 5 必要事項をご入力の上「確認画面へ」をタップ

※お問い合わせ先は事務センターへ

01 証明書の発行について

各種証明書の発行はWebにて申請してください。
卒業年度によりコンビニエンスストアでの発行も可能です。
従来通り郵送または窓口での申請も可能です。
詳細につきましては、中京大学公式ホームページにてご確認ください。

中京大学 卒業生 証明書

検索



証明書の発行ページ

02 個人情報保護法への対応について

校友会における個人情報の取り扱いは、次の方針で行います。

■ 基本方針

- ①利用目的をできる限り特定し、必要な範囲に限り個人情報を取得します。
- ②利用目的の範囲内で、業務の遂行上必要な限りにおいて個人情報を利用します。
- ③取得した個人情報は、本人の同意を得ることなく、第三者に提供しません。
- ④情報セキュリティ対策をはじめ、個人情報の紛失、漏えい等の予防に努めます。
- ⑤外部への業務委託については、個人情報の保護に関する契約の締結及び委託先に対する監督を行い、情報の管理に努めます。
- ⑥本人から個人情報の開示・訂正等の請求がなされた場合は、その請求を尊重して対応します。

■ 具体的方針

- ①会員データの利用目的は、会則に定める「会員相互の親睦を図り、校友の組織を充実させるとともに中京大学の発展に寄与すること」に必要な各種案内や刊行物の発送に限り、それ以外の目的には利用しません。
- ②校友会が管理する個人情報のうち、「会員ナンバー、卒業年度、学科、氏名、住所、電話番号、勤務先名、職名、勤務先電話番号」を各県支部長(部会長)に提供します。ただし、提供するデータは各所属会員のものに限り、
※この場合の各県支部長(部会長)は、(法21条に定める)校友会の従業者に該当します。
- ③個人情報は校友会が一元的に管理し、従業者が個人情報を適正に管理するよう監督します。
- ④従業者以外の方には、個人情報を提供しません。(会員名簿は発刊しません)
- ⑤第三者が情報の提供を求めてきたときは、校友会がその用件を本人に取り次ぎます。
(本人が必要と判断した場合は、本人から相手方に連絡をとっていただきます)
- ⑥本人から個人情報について削除の請求がなされたときは、その請求を尊重して対応します。
※個人情報の削除を希望される方は、事務センターへご連絡ください。所定の手続きの後、データを削除いたします。ただし、削除後は校友会通信等の刊行物及び各県支部校友会やホームカミングデー等の開催案内が一切届かなくなりますので、ご承知おきください。

03 住所変更等について

会員情報変更につきましては校友会・教育後援会事務センター公式LINE(P.38)および中京大学公式ホームページより変更が可能です。

中京大学 校友会 会員情報変更

検索



会員情報変更ページ

梅村学園創立100周年・中京大学開学70周年
記念式典開催報告

2023年5月20日(土)、日本ガイシホール(名古屋市内)にて記念式典が開催されました。ご来賓の方々をはじめ、中京大学附属中京高等学校と中京大学の生徒・学生、それぞれの卒業生や保護者・保証人など約4,000人が参加。快晴の中、参加者の笑顔が溢れる式典となりました。
梅村学園が創立100周年を迎えることができましたのは、校友の皆さまの温かいご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

梅村学園100周年記念寄付金の
主な活用実績

- 教育・研究協力資金
- 大学公認クラブへの支援
(アメリカンフットボール部、硬式野球部、サッカー部、水泳部、スケート部、陸上競技部他多数)
- 学生食堂の改修
- コンテナ型トレーニングルームの設置
- 梅村学園100周年記念留学給付奨学金
- 梅村学園100周年記念ひとり暮らし給付奨学金
- 中京大学附属中京高等学校グランド整備(人工芝張替)

中京大学校友会・教育後援会事務センター

お問い合わせ先

TEL 052-835-7111(大学代表)
TEL 052-835-7140(事務センター直通) FAX 052-835-6069
中京大学URL <https://www.chukyo-u.ac.jp> 事務センターe-mail koyu@ml.chukyo-u.ac.jp
(平日9:00~17:00 大学一斉休暇等を除く)

〒466-8666
名古屋市昭和区八事本町101-2

2024年3月発行